

## 2009年3月期 第2四半期決算 参考データ集

---

## 利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	備考
純利益	81,045	104,028	22,983	P/L
少数株主損益	8,678	4,336	△4,342	P/L
減価償却相当額	71,596	48,295	△23,301	
減価償却費	17,738	19,675	1,937	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,236	3,380	144	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の 回収額	50,622	25,240	△25,382	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	16,530	32,435	15,905	
探鉱費	8,316	15,722	7,406	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	7,527	14,192	6,665	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	687	2,521	1,834	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	△8,692	△6,376	2,316	
法人税等調整額	△7,038	△7,360	△322	P/L
為替差損益	△1,654	984	2,638	C/F
税引後ネット支払利息	7	△42	△49	P/L 税引後の支払利息一受取利息
<b>EBIDAX</b>	<b>169,164</b>	<b>182,676</b>	<b>13,512</b>	

## 生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	09年3月期第2四半期 連結累計期間		
	(2008年4月-9月)	うちINPEX連結	うち帝石連結
生産物回収勘定(期首)	383,162	378,738	4,424
増加:			
探鉱投資	20,085	18,849	1,236
開発投資	90,527	89,622	904
操業費	31,956	30,563	1,393
その他	—	—	—
減少:			
コスト回収(CAPEX)	25,240	25,054	186
コスト回収(Non-CAPEX)	53,254	51,615	1,639
その他	551	551	—
生産物回収勘定(期末)	446,686	440,552	6,133
生産物回収勘定引当金	88,102	83,592	4,509

## 所在地別セグメント情報

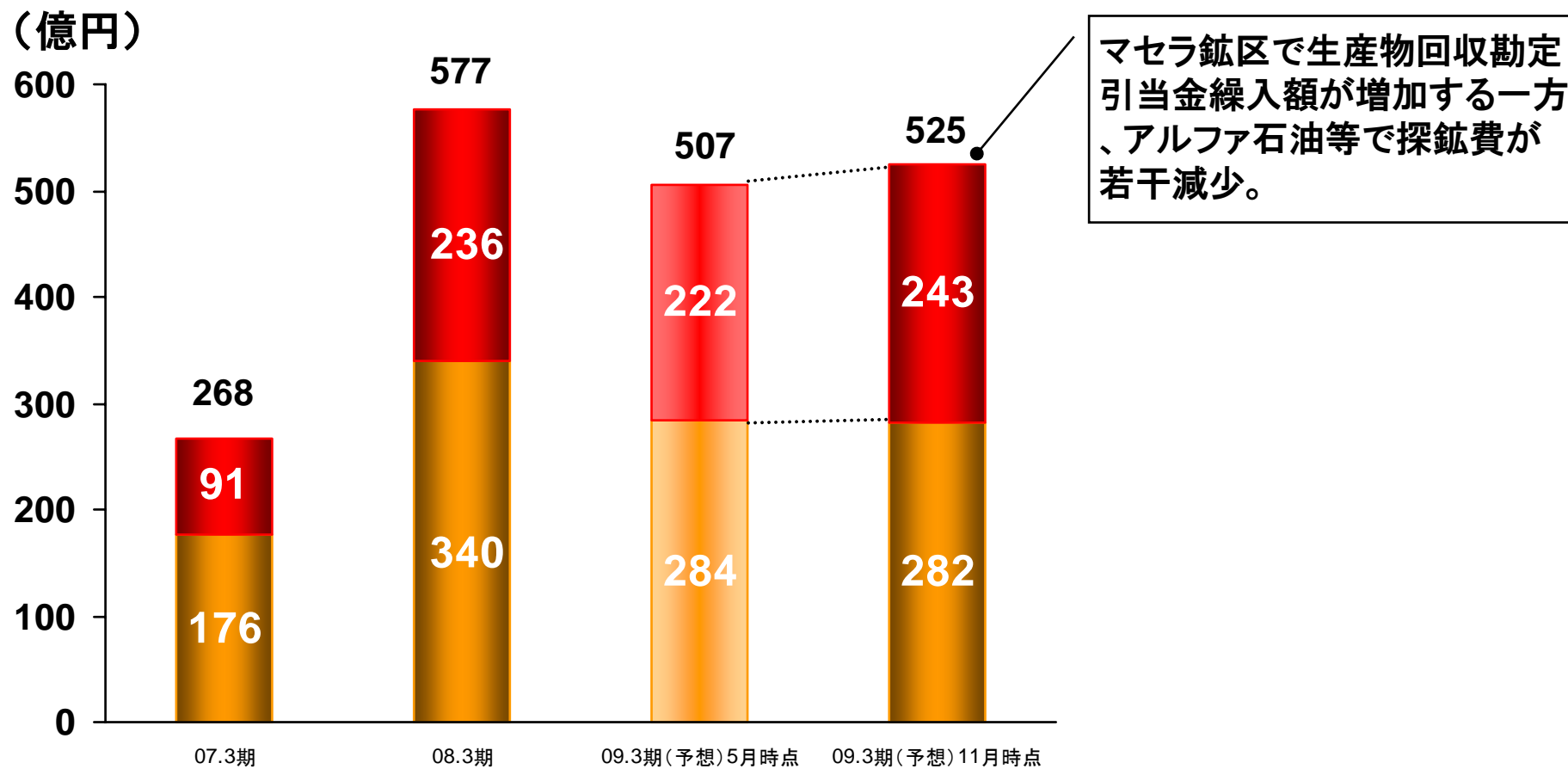
2009年3月期第2四半期連結累計期間(2008年4月1日～2008年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	消去または 全社	連結
売上高	46,496	286,738	54,395	349,799	4,163	741,594	-	741,594
営業利益	16,108	205,331	32,700	254,093	△1,102	507,131	(3,410)	503,721

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。  
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
- (1) アジア・オセアニア.....インドネシア、オーストラリア、東チモール、ベトナム
  - (2) ユーラシア(欧州・NIS諸国).....アゼルバイジャン、カザフスタン、イギリス
  - (3) 中東・アフリカ.....アラブ首長国連邦、コンゴ民主共和国、イラン、リビア、エジプト、アルジェリア、アンゴラ
  - (4) 米州.....ベネズエラ、エクアドル、アメリカ合衆国、カナダ、スリナム、ブラジル

## 探鉱費・生産物回収勘定引当金繰入額予想



■ 生産物回収勘定引当金繰入額\*(PS契約)

\* 探鉱事業引当金繰入額を含む

■ 探鉱費(コンセッション契約)

INPEX

## 2009年3月期業績予想 基礎前提

【参考】

2009年3月期予想		5月14日時点	11月11日時点	増減
販売量	原油（千バレル） <sup>1</sup>	78,089	76,034	△2,055
	天然ガス（百万cf） <sup>2</sup>	408,146	405,758	△2,388
	うち海外分	344,253	343,359	△894
	うち国内分	63,892 (1,712百万m <sup>3</sup> )	62,399 (1,672百万m <sup>3</sup> )	△1,493 (△40百万m <sup>3</sup> )
	LPG（千バレル） <sup>3</sup>	2,052	2,111	59

第2四半期 累計実績
38,301
197,349
169,048
28,301 (758百万m <sup>3</sup> )
1,083

開発投資額(億円)	2,974	2,640	△334
探鉱投資額 <sup>4</sup> (億円)	557	599	42
探鉱費および 探鉱関連引当額 <sup>5</sup> (億円)	507	525	18
うち少数持分負担額 <sup>6</sup> (億円)	71	78	7

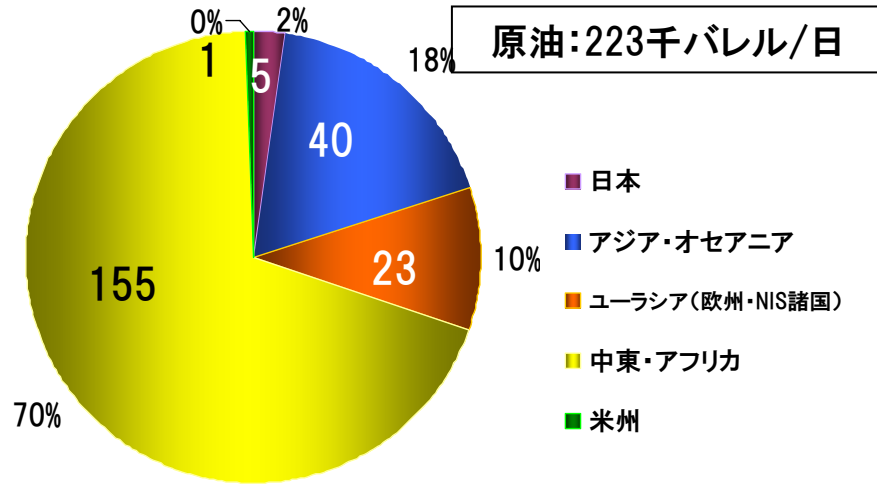
1,242
357
324
62

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用  
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m<sup>3</sup>=37.32cfを使用  
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用  
 4 権益取得費を含む  
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額を記載  
 6 インペックスマセラアラフラ海石油、INPEX UK、帝石スリナム石油のうちJOGMEC負担分

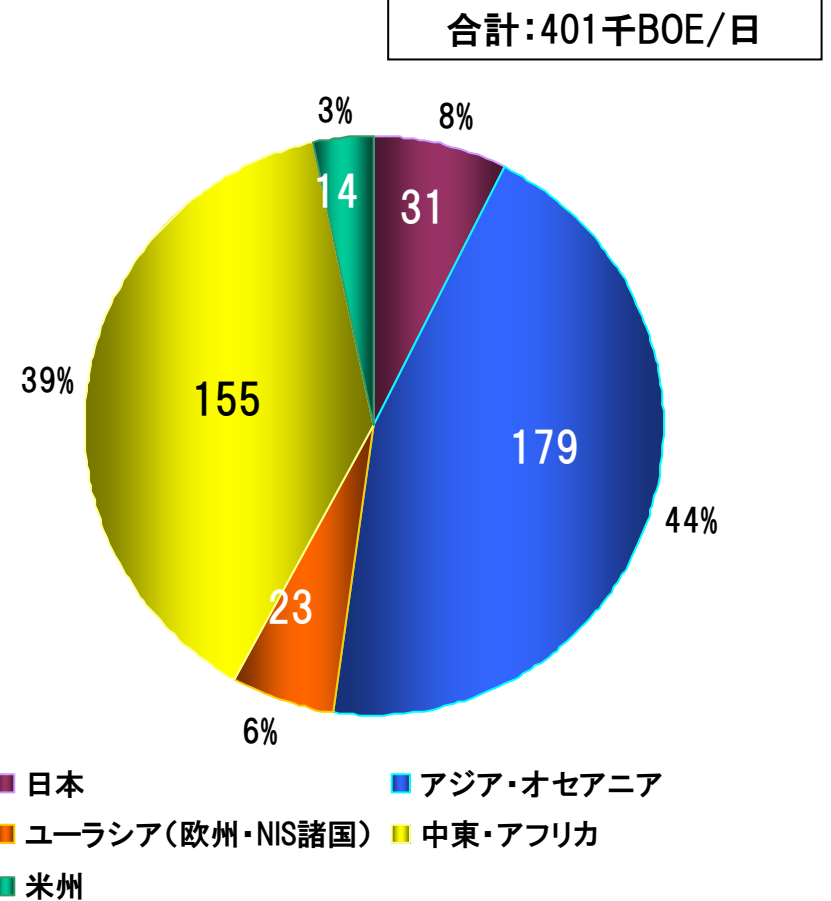
**INPEX**

# 生産量(2008年4-9月平均日産量)

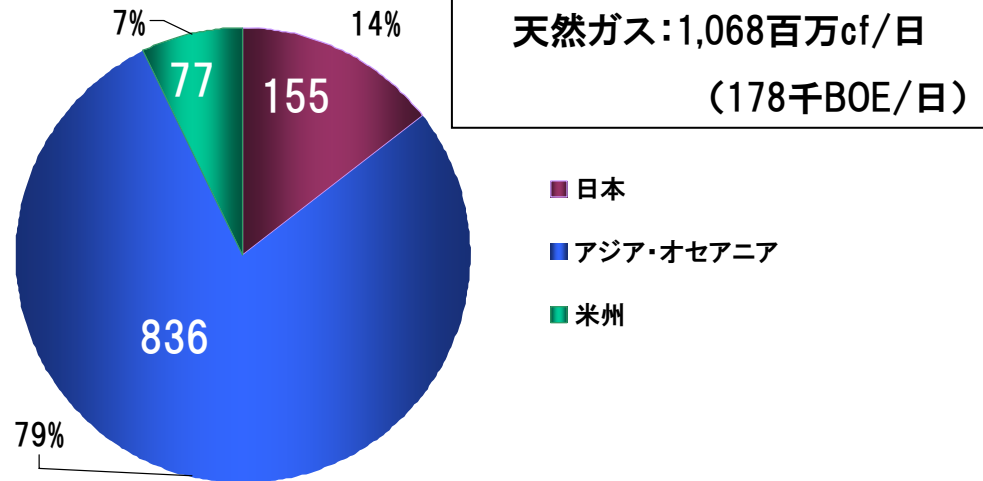
## 原油



## 原油・天然ガス合計

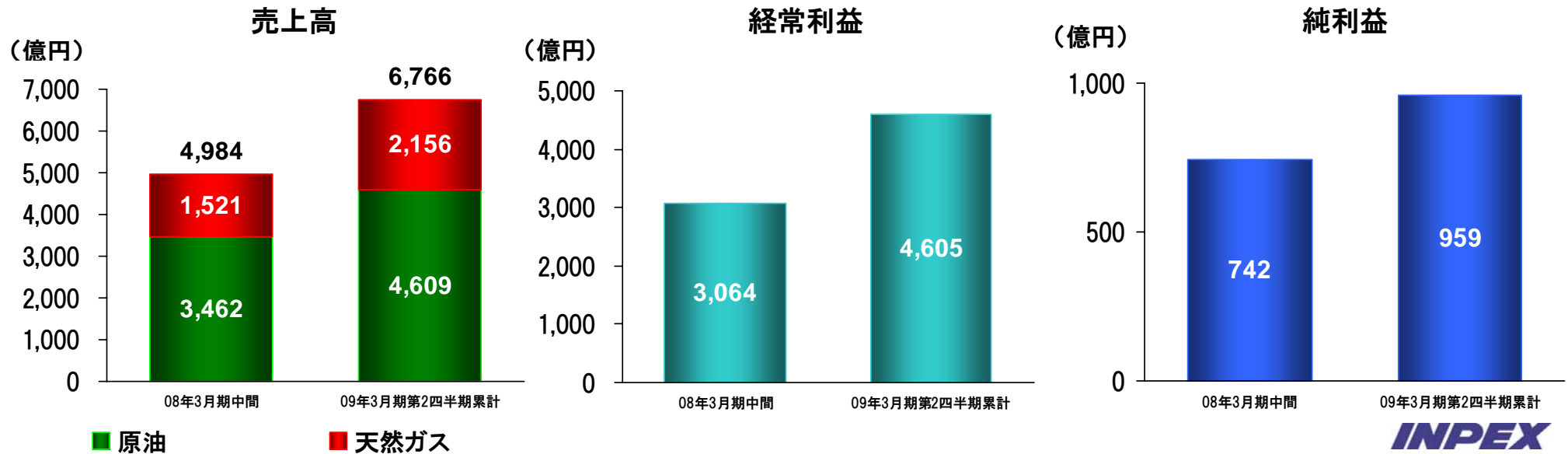


## 天然ガス



# 国際石油開発 2009年3月期 第2四半期決算ハイライト

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	4,984	6,766	1,781	35.7%
営業利益(億円)	3,079	4,796	1,717	55.8%
経常利益(億円)	3,064	4,605	1,541	50.3%
純利益(億円)	742	959	216	29.1%



## 国際石油開発 原油売上高

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
原油売上高* (億円)	3,462	4,609	1,146	33.1%
原油販売量 (千bbl)	41,410	36,719	△4,691	△11.3%
平均単価 (\$/bbl)	69.78	117.41	47.63	68.3%
平均為替 (¥/\$)	119.45	105.87	13.58円高	11.4%円高

\*インドネシア国内供給義務を含む。

主にACG油田(インペックス南西カスピ海石油)の販売量減少により前期比11.3%減少。

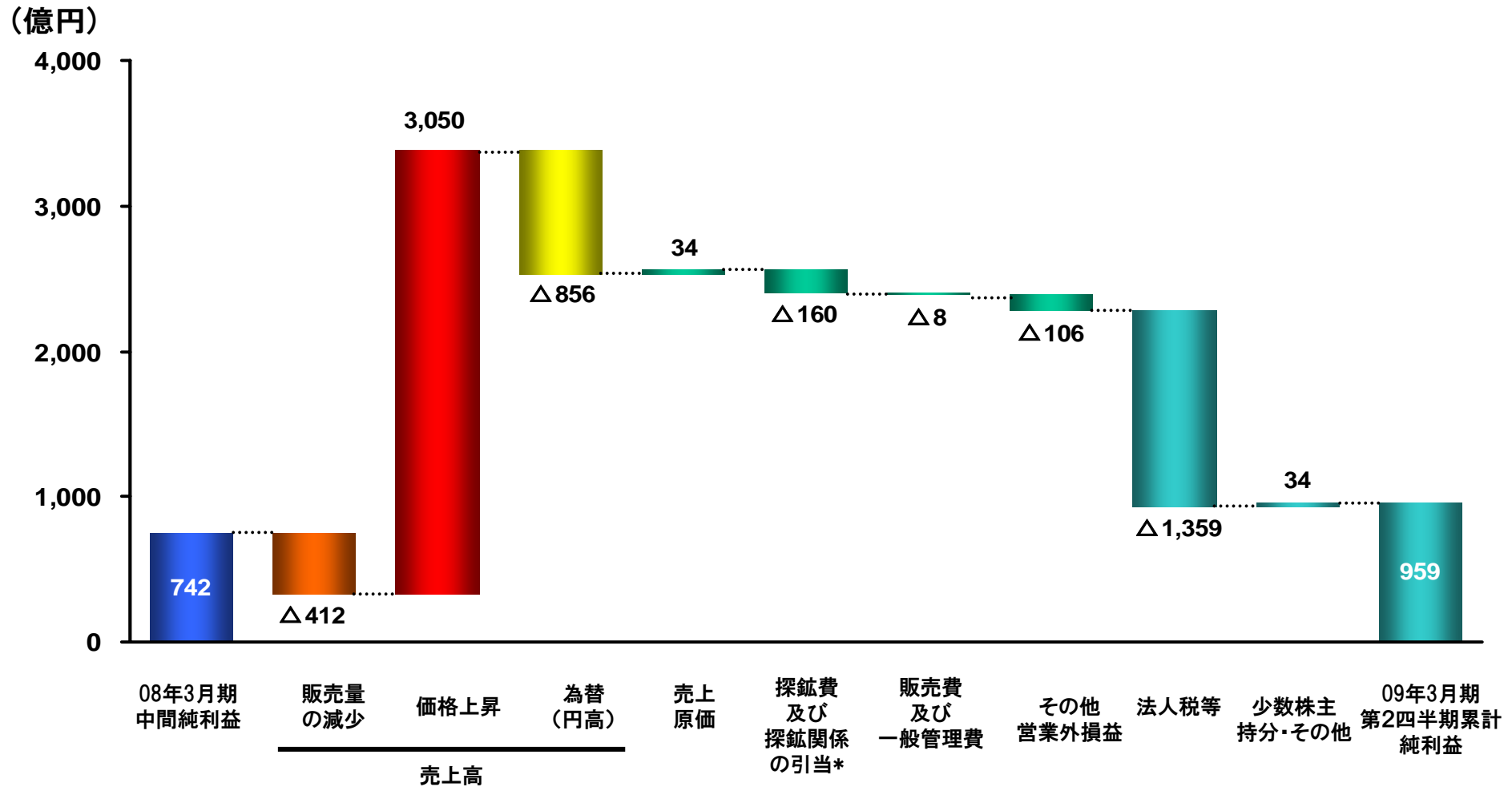
## 国際石油開発 天然ガス売上高

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
天然ガス売上高 (億円) (LPGを含む)	1,521	2,156	634	41.7%

天然ガス販売量 (百万cf)	159,073	154,546	△4,527	△2.8%
平均単価 (\$/千cf)	7.80	12.62	4.82	61.8%
平均為替 (¥/\$)	119.30	106.27	13.03円高	10.9%円高

主にボンタンLNGプラントからの出荷カーゴ数の減少により、前期比2.8%減少。

# 国際石油開発 純利益 増減要因分析



\*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額(4億円増加)

# 国際石油開発 損益計算書

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半 期連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高	4,984	6,766	1,781	35.7%
売上原価	1,712	1,677	△34	△2.0%
探鉱費	38	129	90	233%
販売費及び一般管理費	153	162	8	5.7%
営業利益	3,079	4,796	1,717	55.8%
営業外収益	161	78	△83	△51.7%
営業外費用	176	269	92	52.3%
経常利益	3,064	4,605	1,541	50.3%
法人税等及び法人税等調整額	2,247	3,609	1,359	60.5%
少数株主利益	74	39	△34	△46.4%
純利益	742	959	216	29.1%

原油売上原価： 1,329  
(増減) +37

天然ガス売上原価： 347  
(増減) △72

ブラウズ、インパックスチモールシー  
等

主に外国法人税

## 国際石油開発 営業外収益・費用

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半 期連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
<b>営業外収益</b>	161	78	△83	△51.7%
受取利息	54	30	△24	△44.2%
持分法による投資利益	4	10	5	114.2%
埋蔵量再評価精算益	38	-	△38	△100%
為替差益	47	-	△47	△100%
その他	15	36	21	137.9%
<b>営業外費用</b>	176	269	92	52.3%
支払利息	54	30	△23	△43.5%
生産物回収勘定引当金繰入額	66	132	65	97.3%
為替差損	-	50	50	-
その他	55	56	0	1.4%

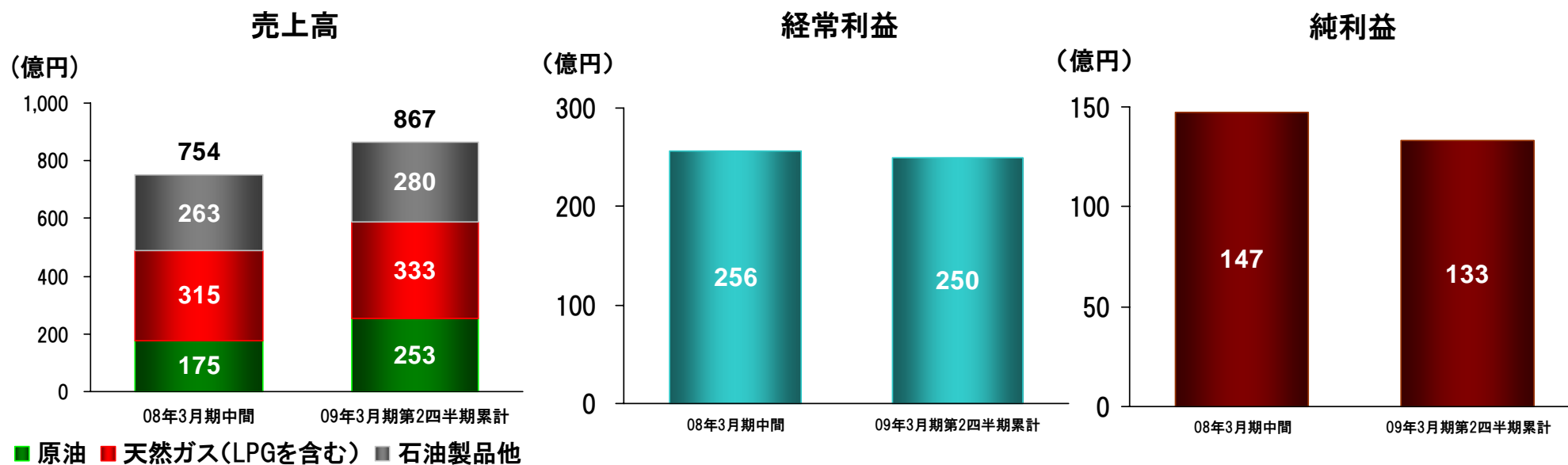
前期はバユ・ウンダンガスプロジェクトにおける隣接鉱区との埋蔵量再評価による精算益

アバディ及びインペックスリビア等の探鉱投資の増加

当期の期首期末為替レートは3.43円円安、前年同期は2.66円円高

# 帝国石油 2009年3月期 第2四半期決算ハイライト

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	754	867	112	14.9%
営業利益(億円)	212	274	61	29.1%
経常利益(億円)	256	250	△5	△2.1%
純利益(億円)	147	133	△13	△9.3%



## 帝国石油 原油売上高

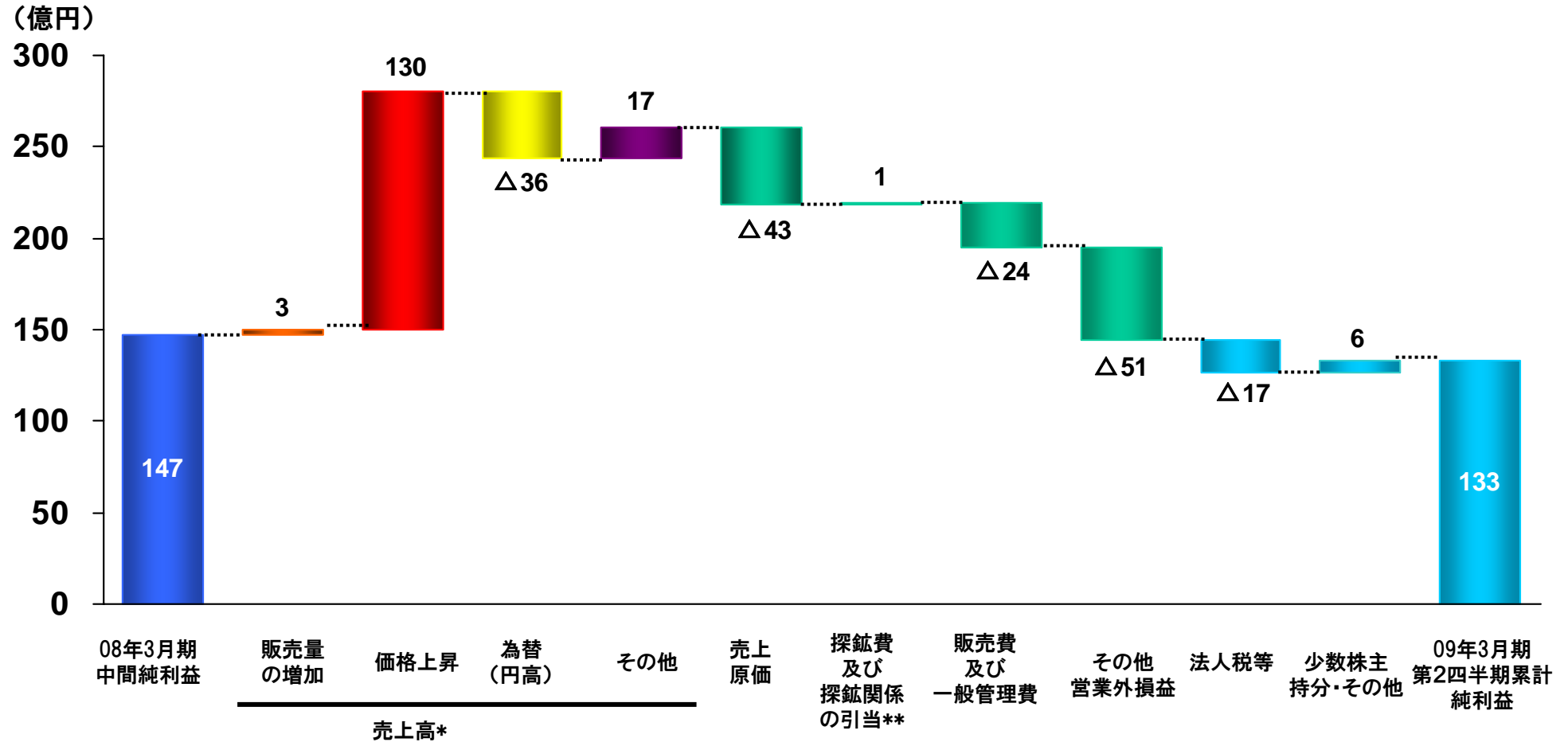
	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
原油売上高 (億円)	175	253	78	44.5%
海外原油販売量 (千bbl)	2,123	2,140	17	0.8%
仕入販売取引相殺後(千bbl)	1,411	1,421	10	0.7%
国内原油販売量 (千kl)	24	26	2	7.0%
海外原油平均単価 (\$/bbl)	63.74	102.97	39.23	61.5%
国内平均単価 (¥/kl)	55,004	81,789	26,785	48.7%
平均為替 (¥/\$)	120.05	105.63	14.42円高	12.0%円高

## 帝国石油 天然ガス売上高

	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
天然ガス売上高(億円) (LPGを含む)	315	333	18	5.7%

海外ガス販売量(百万cf)	14,788	14,502	△286	△1.9%
国内ガス販売量(百万Nm <sup>3</sup> )	756	758	2	0.3%
海外ガス平均価格(\$/千cf)	2.13	2.30	0.17	8.0%
国内ガス平均価格(¥/Nm <sup>3</sup> )	34.92	37.25	2.33	6.7%
海外ガス売上為替(¥/\$)	120.15	104.90	15.25円高	12.7%円高

# 帝国石油 純利益 増減要因分析



\*仕入販売取引分を含む。ホールディングス連結では売上原価と純額表示。

\*\*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額(13億円増加)



# 帝国石油 損益計算書

(億円)	08年3月期中間 (2007年4月-9月)	09年3月期第2四半期 連結累計期間 (2008年4月-9月)	増減	増減率
売上高	754	867	112	14.9%
売上原価	381	424	43	11.3%
探鉱費	44	27	△16	△37.4%
販売費及び一般管理費	116	140	24	21.0%
営業利益	212	274	61	29.1%
営業外収益	64	31	△32	△51.0%
営業外費用	20	55	34	164.4%
経常利益	256	250	△5	△2.1%
法人税等及び法人税等調整額	95	112	17	18.2%
少数株主利益	12	3	△9	△71.3%
純利益	147	133	△13	△9.3%

原油売上原価： 127  
(増減) +34

天然ガス売上原価： 81  
(増減) +5

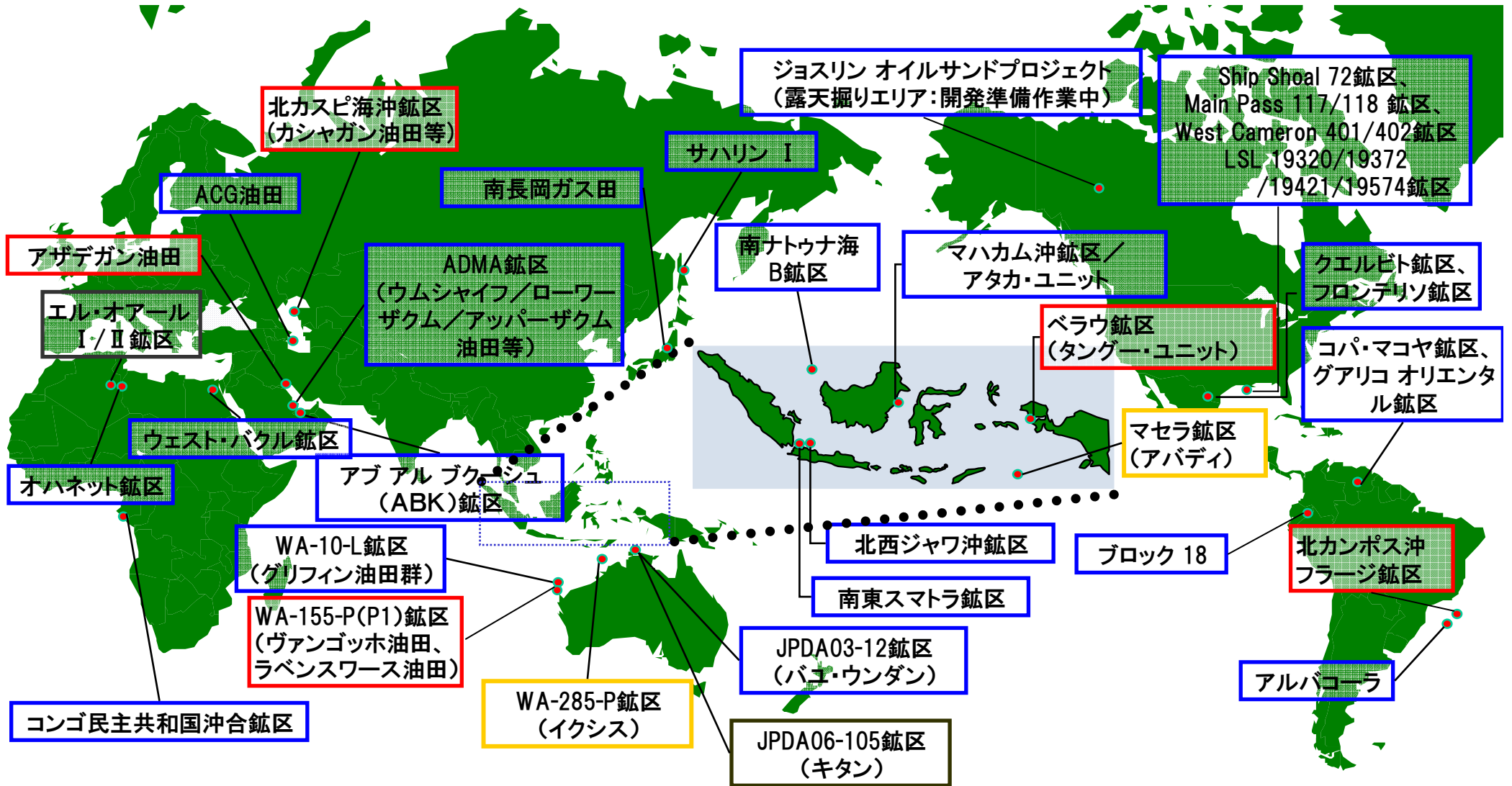
前期はベネズエラ(ガスグアリコ)  
における石油契約発効に伴う過年  
度分(06.4-12)精算益

磐城沖廃鉱費用引当金の増加等

## プロジェクト参考データ

---

# 主なプロジェクトの地理的位置



生産中

開発中

開発準備作業中(既発見)

開発検討中(既発見)

INPEX

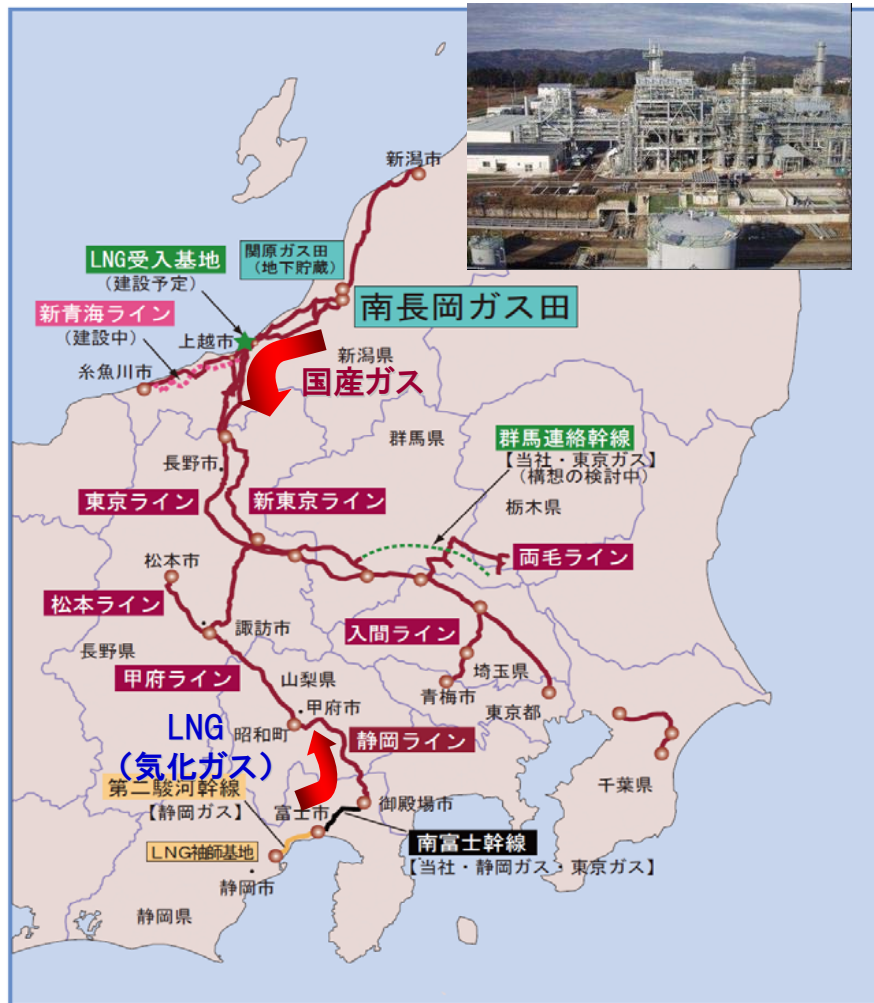
# 生産開始スケジュール

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・ 生産キャパシティ	当社シェア※1
08年4月 ～09年3月	タンゲーLNGプロジェクト	インドネシア	BP	760万 <sup>トン</sup> /年	7.79%
09年4月 ～10年3月	フラージ油田 ヴァン・ゴッホ油田 ノースブルットガス田	ブラジル オーストラリア インドネシア	Chevron Apache ConocoPhillips	10万bbl/日 6万bbl/日 - *2	6.85% 47.499% 35%
10年4月 ～11年3月	ラベンスワース油田	オーストラリア	BHPBP	- *2	28.5%
12年4月 ～13年3月	エルオアールI&II カシャガン油田	アルジェリア カザフスタン	ENI ENI	未定 150万bbl/日	10.29% 7.56%
13年4月～	ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り) イクシスLNGプロジェクト(LNG) (コンデンセート) (LPG) アバディLNGプロジェクト	カナダ オーストラリア  インドネシア	TOTAL 当社  当社	20万bbl/日 800万 <sup>トン</sup> 超/年 約10万bbl/日 約160万 <sup>トン</sup> /年 未定	10% 76%  100%
既発見・ 生産開始未定	クダ・タシ/ジャハール/キタン構造 カイルン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造	JPDA カザフスタン	ENI ENI	未定 未定	35% 7.56%
フェーズ1本格生産 は未定 (初期生産中)	アザデガン油田	イラン	NICO	26万bbl/日	10%

\*1 当社シェアは、鉱区権益比率。ただし、持分法適用関連会社分は、鉱区権益比率に当社出資比率を乗じたもの

\*2 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可

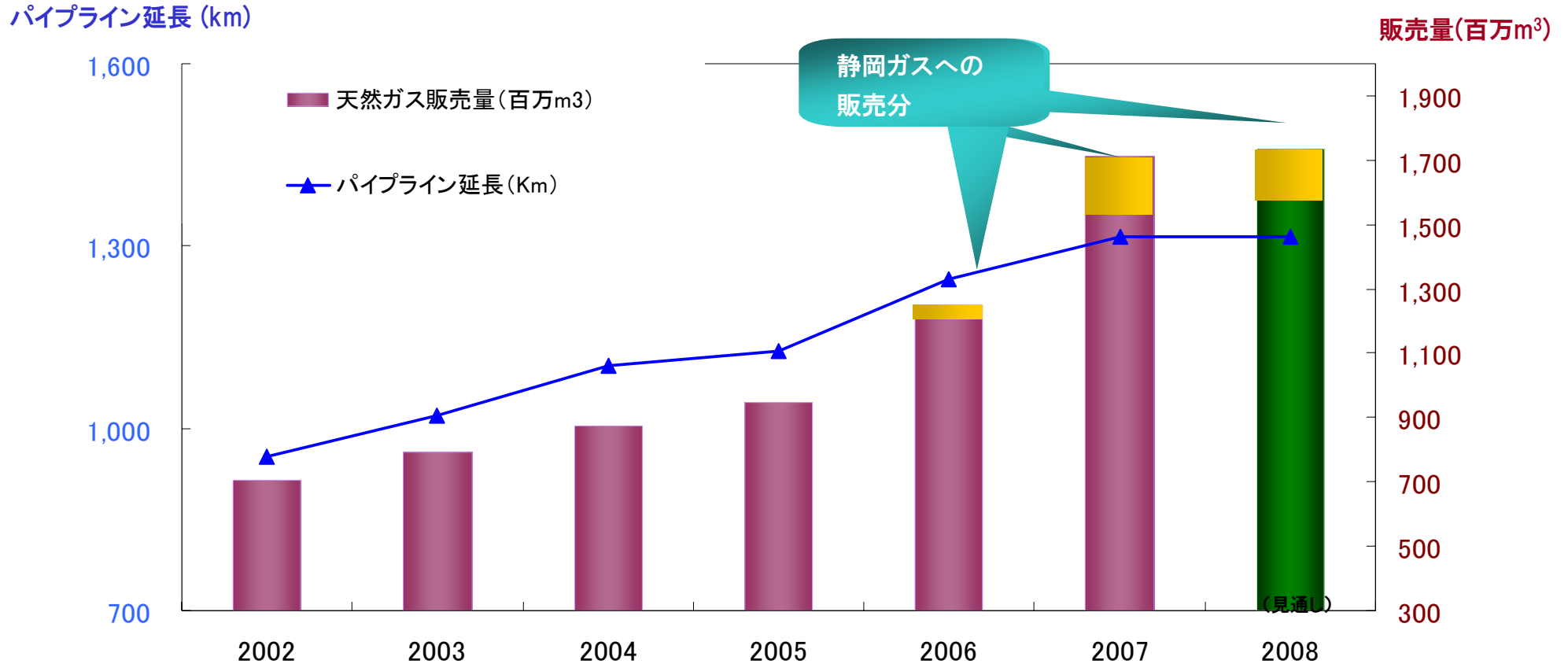
# 国内天然ガス事業



国内パイプラインネットワーク

- 生産量\*
  - 天然ガス: 約4.4百万m<sup>3</sup>/日
  - 原油: 約5,000バレル/日
- 天然ガス販売量
  - 2007年度は前期比37%増の17億m<sup>3</sup>
- 南長岡ガス田(1984年生産開始)
  - MHF技術により北部開発を促進
  - 2006年プラント処理能力増強 (ガス田全体の処理能力: 約500万m<sup>3</sup>)
- ガス拡販を目的としたパイプラインネットワークの拡充 (総延長約1,400km)
  - 新青海ライン(約71km: 約178億円: 2009年完成予定)
  - 群馬連絡幹線構想(東京ガス株との共同検討)
- LNGの導入(2010年～)
  - 静岡ガス株のLNG気化ガスを導入
- LNG受入基地(上越市)の建設(2014年操業開始予定)
  - 当社グループによるガスサプライチェーン構築も視野に
- 発電事業: 約5.5万kw

# 国内天然ガス事業 拡販の推移



注: \*2005年までは12月期、2006年以降は翌年3月期の4月～3月ベース、2008年は見通し  
 \*\*1m³当り41.8605MJ(10,000kcal)換算  
 \*\*\*単体ベース

## ■ 2007年度は前期比37%増の17億m³

- 工業用需要家を中心に天然ガスへの燃料転換が進展
- 静岡ガスへの販売通年化 ⇒ 中長期的には20億m³を超える規模の需要を想定

## ■ LNG導入に向けて(2010年～)

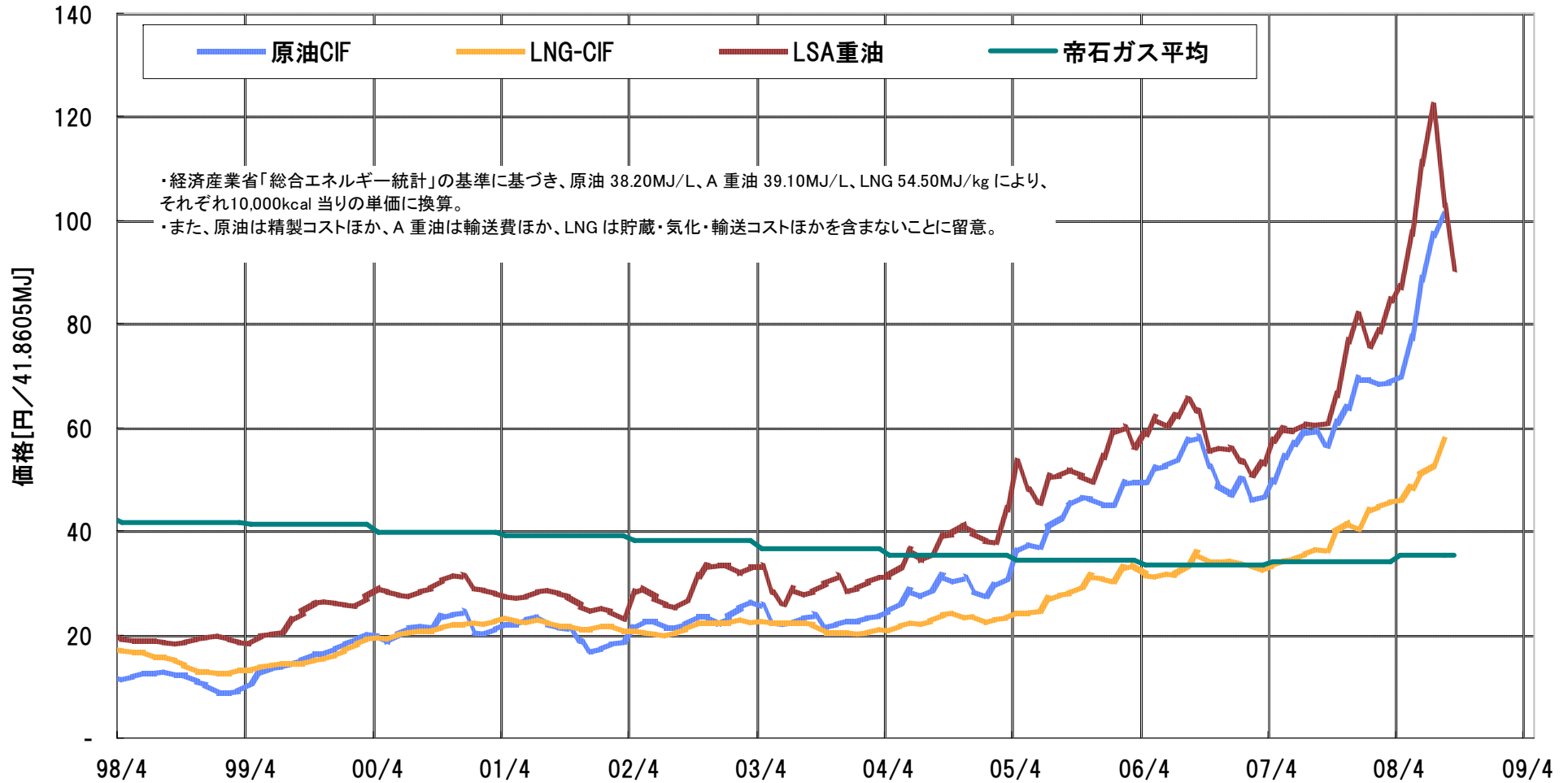
- 拡販ペースに応じた導入
- 導入後の販売価格体系について協議中



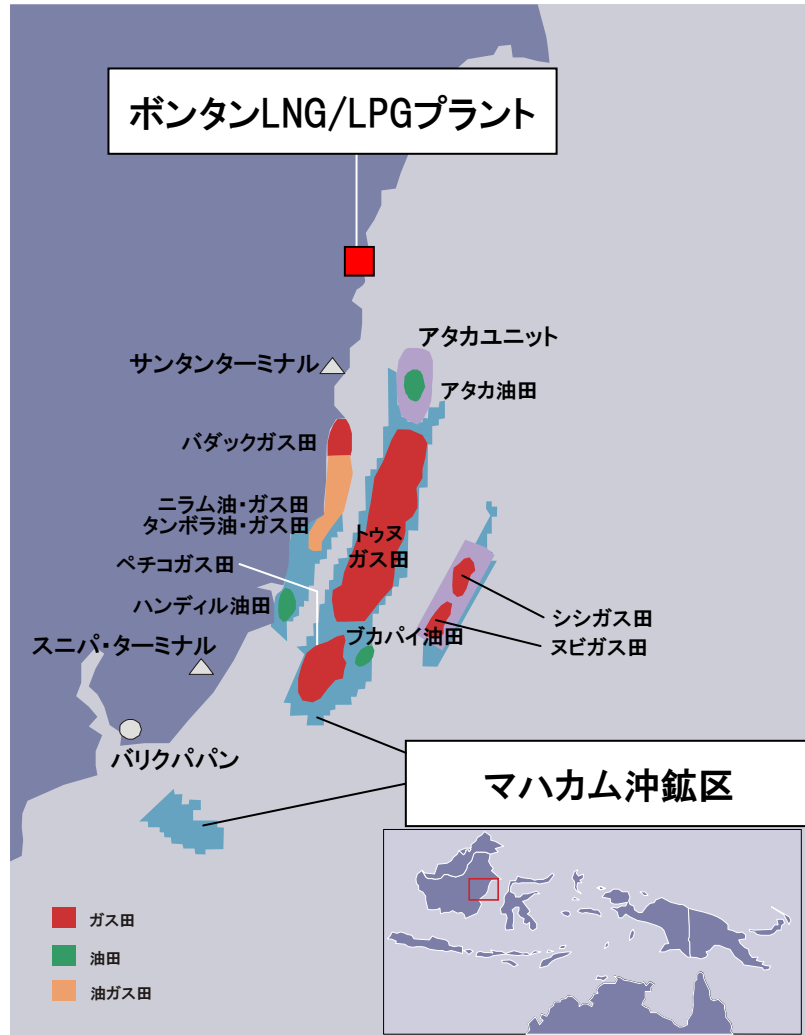
# 国内天然ガス価格

# 価格環境

単位あたりの価格の比較

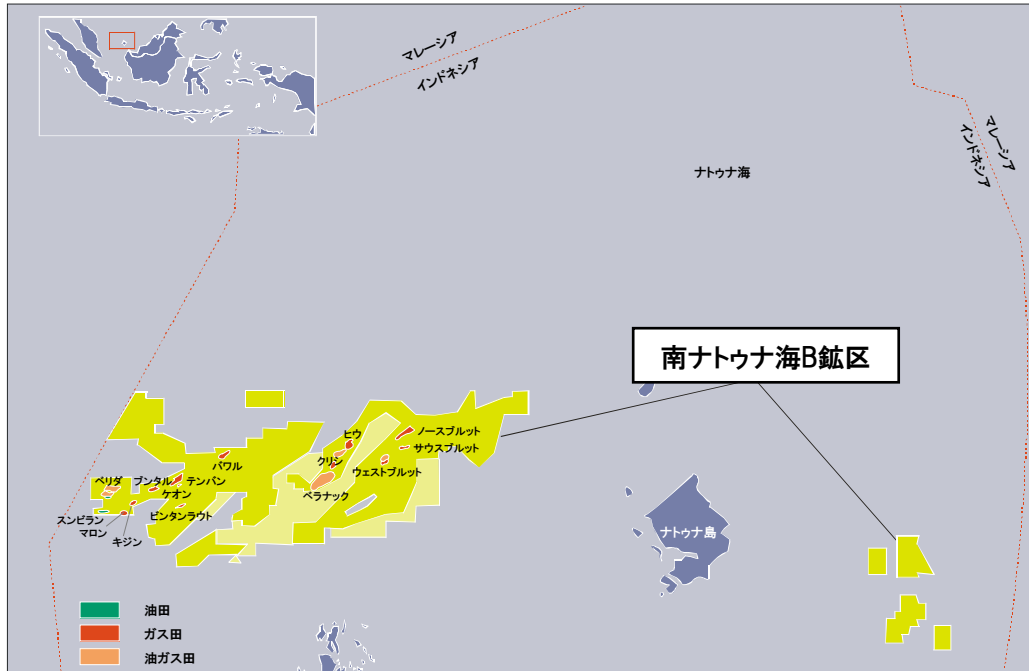


# マハカム沖鉱区 国際石油開発帝石



- 当社権益比率: 50%  
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量\*
  - 原油: 日量約7万6千バレル
  - 天然ガス: 日量約26億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
  - トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
  - タンボラ油・ガス田の追加開発
  - シシ/ヌビ ガス田の開発
- 2010年12月、2011年3月に更新を迎えるLNG販売契約の延長

# 南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油



\* 全鉱区ベース、2008年9月平均日産量

- 当社権益比率: 35.0%  
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*:
  - 原油: 日量約8万1千バレル
  - LPG: 日量約9千バレル
  - 天然ガス: 日量約6億立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 世界有数規模のFPSOで操業を行うベラナック油ガス田では2004年12月より原油・コンデンセートの生産を開始、2007年4月よりLPGの生産を開始。クリシ油ガス田について2007年12月より生産開始
- ノースブルットガス田は2009年生産開始を予定

# ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン



- MI Berau/MIベラウジャパン\*:  
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)  
\*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:  
MI Berau分: ベラウ鉱区 22.9%(タンゲー・ユニット 16.3%)  
ケージーベラウ石油開発分: ベラウ鉱区 12%(タンゲー・ユニット 8.56%)  
(オペレーター:BP)
- PS契約: 2035年まで
- インドネシア政府より、開発計画、生産分与契約の延長についての承認取得
- LNGプロジェクト開発費用として、総額35億米ドルの融資契約を締結済
- 建設中のLNGプラントは2009年第1四半期生産開始予定
  - 年間760万トンのLNGを生産する計画
  - 中国福建省向けLNG長期販売契約を締結
  - 韓国POSCO社及びK-Power社とLNG販売契約を締結
  - 米国Sempra社とLNG販売契約を締結

# マセラ鉱区(アバディ) インペックスマセラアラフラ海石油



- 当社権益比率: 100.0%
- オペレーター: 当社
- PS契約:
  - 探鉱期間10年間(2008年まで)
  - 開発・生産期間20年間(2028年まで)
- 2000年に試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見
- 2002年に評価井2坑を掘削、アバディ構造が大規模ガス田であることを確認
- 埋蔵量評価を目的として、2007年5月より4坑の評価井掘削を実施
- 2008年5月にアバディガス田の開発計画をインドネシア政府(BPMIGAS)に提出し、具体的な協議実施中

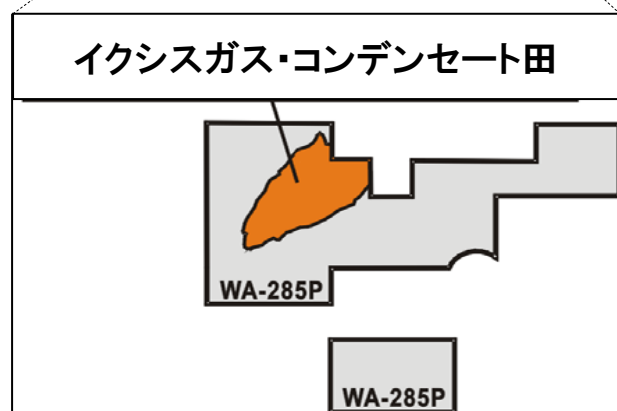
# バユ・ウンダン サウル石油



\*1 2008年9月平均日産量

- 当社権益比率: 11.27%
- (オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*1
  - 原油・コンデンセート: 日量約6万5千バレル
  - 天然ガス: 日量約11億立方フィート
  - LPG: 日量約3万8千バレル
- PS契約: 2022年まで
- コンデンセート及びLPGの開発を目的としたフェーズ1については、2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始
- フェーズ2は、オーストラリア北部準州ダーウィンにおけるLNGプロジェクトであり、2006年2月にLNG販売開始
  - 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、プラト一時年間300万トン)

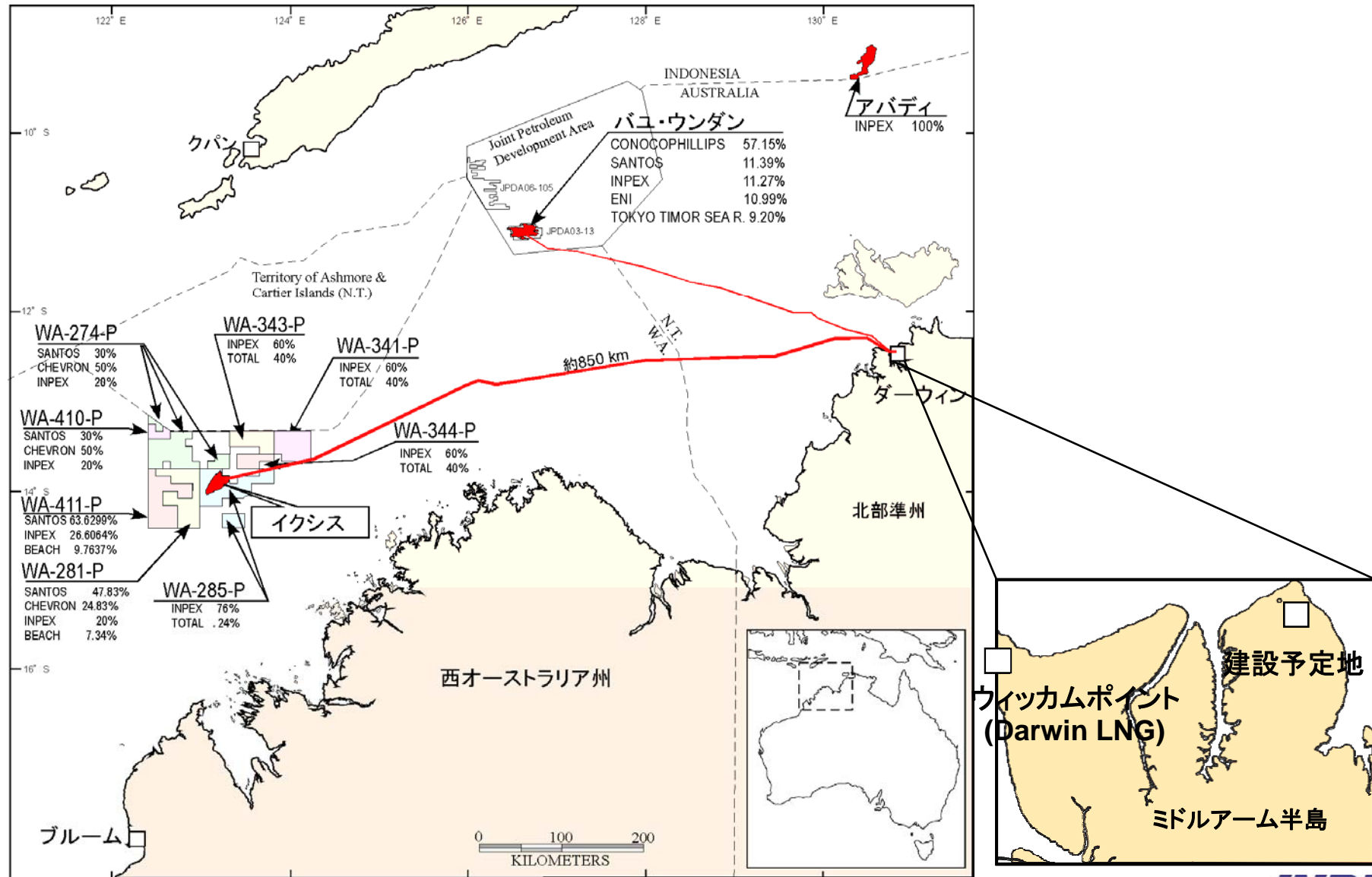
# WA-285-P鉦区(イクシス) インペックス西豪州ブラウズ石油



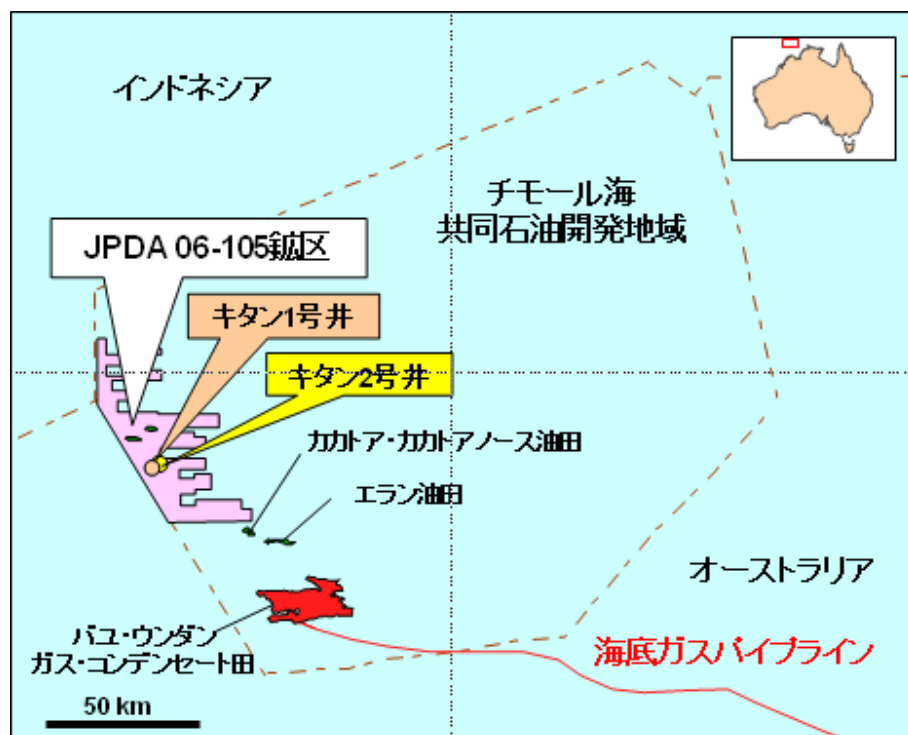
- 当社権益比率: 76.0%
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
  - 探鉦期間 2009年9月まで
  - 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)
- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2006年8月、長期にわたり豪州経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- ガス埋蔵量の拡大を目的として、試掘井Dinichthys North-1を2007年4月より、また試掘井Ichthys West-1を2008年4月より掘削し、計8坑の試探掘を実施
- 2008年5月、豪州連邦政府及び北部準州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2008年9月、陸上LNGプラント建設地を北部準州ダーウィンに決定
- プロジェクトの投資額(CAPEX)は、FEEDを通じて今後検討予定(200億米ドル以上)
- 初期段階ではLNGを年間800万トン超、コンデンセートを日量約10万バレル、LPGを年間約160万トン生産予定

**INPEX**

# インペックス西豪州ブラウズ石油 保有鉱区位置図

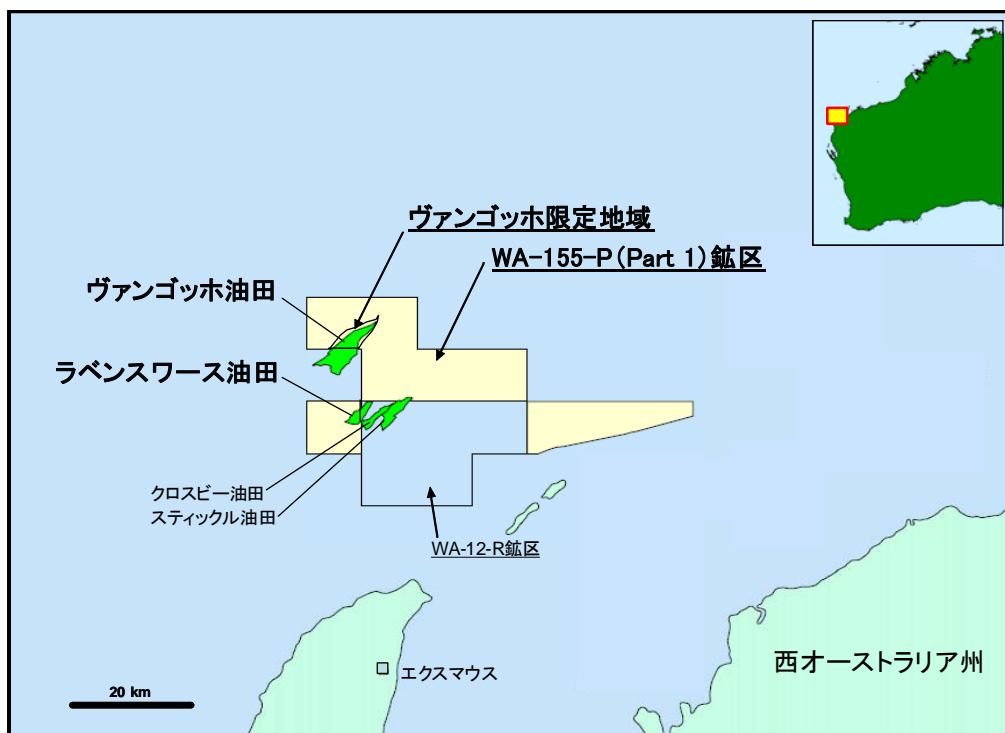


## JPDA06-105鉦区 インペックスチモールシー



- 当社権益比率: 35% (オペレーター: Eni)
- PS契約:  
探鉦期間 2011年まで
- 1994年以降、試掘井6坑井、評価井3坑井、計9坑井を掘削
- 2008年3月、試掘井キタン1号井及びキタン2号井において原油を確認
- 2008年5月、開発対象油田(開発エリア)として承認
- 現在、キタン油田の開発を検討中
- 2009年5月に開発計画提出予定

# WA-155-P(Part1)鉱区(ヴァンゴッホ油田・ラベンスワース油田) アルファ石油



- 当社権益比率:28.5%
- 利権契約:
  - 探鉱期間 2009年2月まで
  - 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)

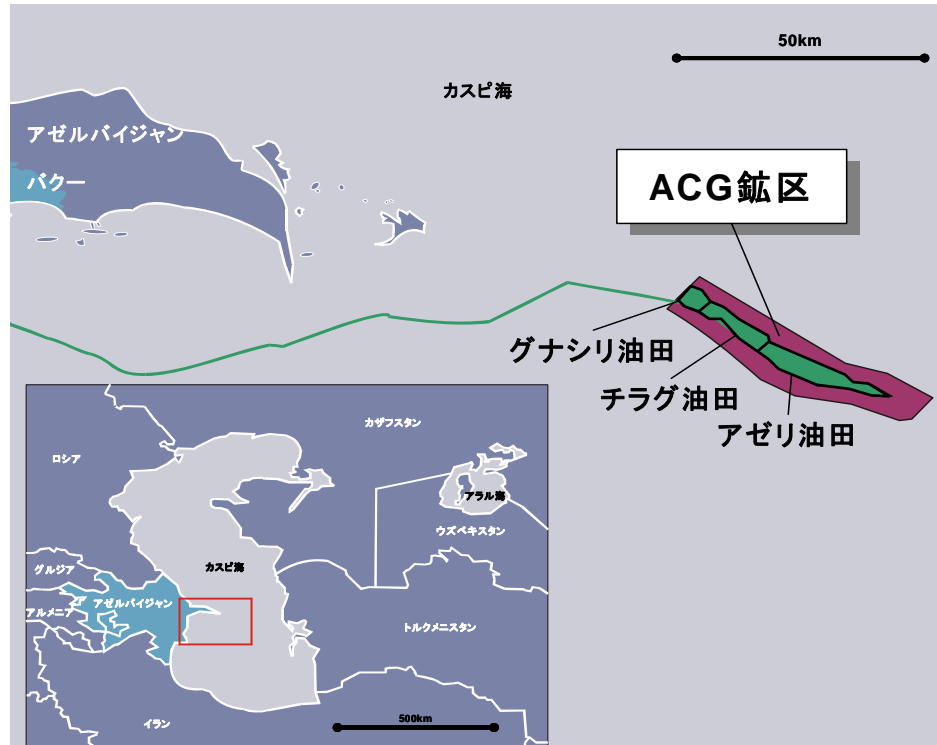
## ラベンスワース油田

- オペレーター:BHPBP
- 2007年11月に開発移行を決定し、開発作業を実施中
- WA-155-P(Part 1) 鉱区とその東側に隣接するWA-12-R 鉱区に跨って位置するラベンスワース油田は、WA-12-R 鉱区のクロスビー油田及びスティックル油田とともに、WA-12-Rが保有するFPSOにタイインする計画であり、生産開始は2010年7月を予定

## ヴァンゴッホ油田(ヴァンゴッホ限定地域)

- オペレーター: Apache(当社権益比率: 47.499%)
- 2007年4月に開発移行を決定し、開発作業を実施中
- 生産開始は2009年4月の予定
- 生産量はピーク時で日産約6 万バレルの規模となる予定

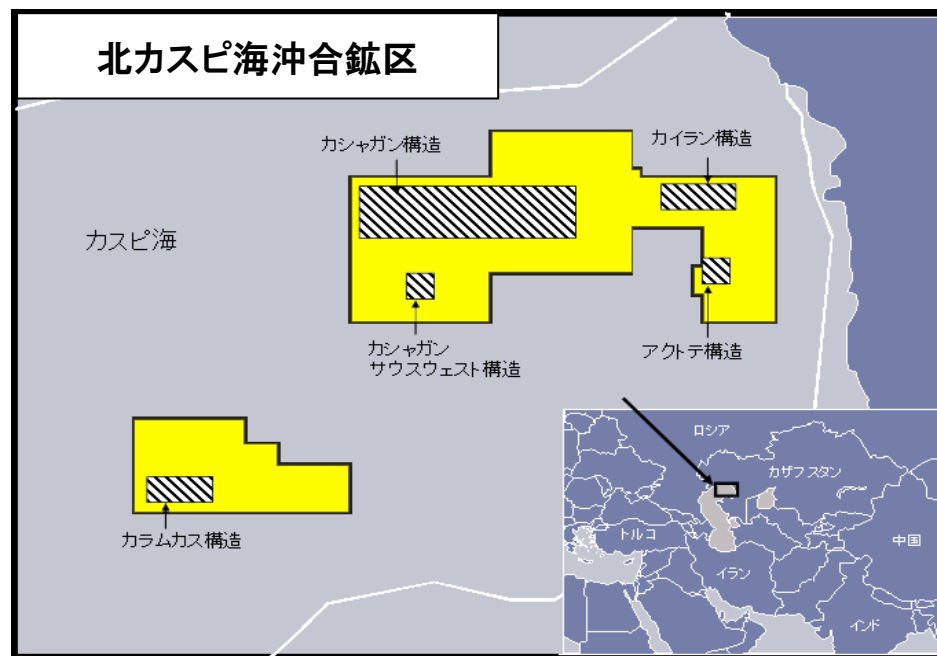
# ACG油田 インペックス南西カスピ海石油



注: \*1全鉱区ベース、2008年9月平均日産量

- 当社権益比率: 10.0%(オペレーター:BP)
- 生産量:日量約61万バレル\*1,2
  - \*2 2008年9月17日、アゼリ油田(中央部)のプラットフォーム近傍にて、ガスリークが発生。同プラットフォームを一時的にシャットダウンし、発生源の特定作業を実施中。現在、生産制限中。
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部は2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部は2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部は2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部は2008年4月に生産開始

# カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油

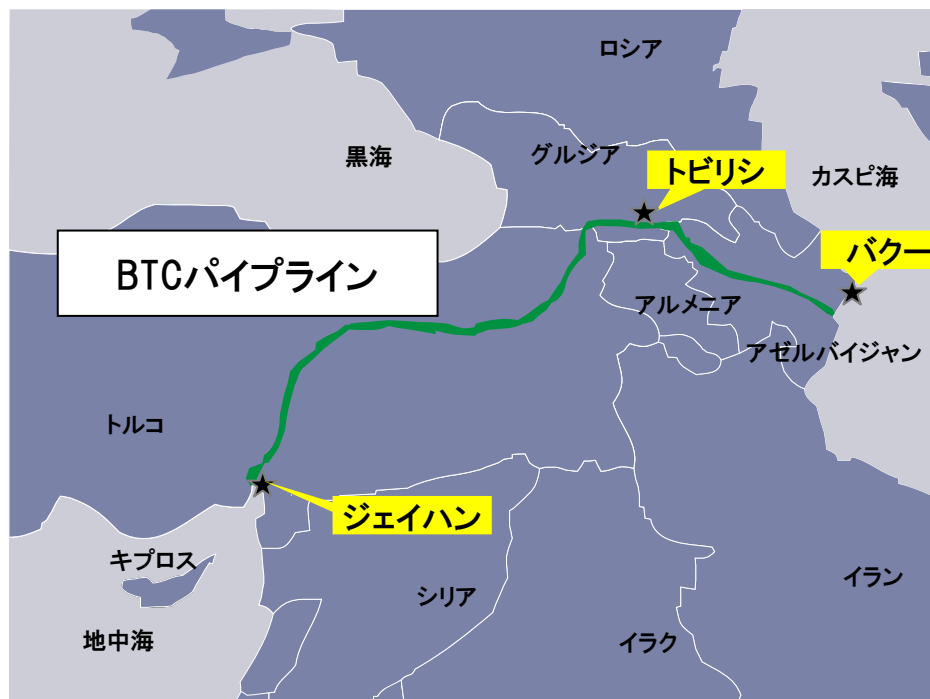


- 当社権益比率: 7.56%
- PS契約: 2021年末まで\*
- 2000年6月カシャガンにおいて原油発見
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2008年10月、カザフスタン政府と最終合意に到達
- 新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立。2009年1月より、同社が現行オペレーター Agip KCO社の役割を承継
- 2012年末 生産開始目標
- 第一段階の開発(Experimental Program)では、原油生産量(プラトー生産量)は、日量30万バレル、続いて45万バレルに逐次増加。カシャガン油田の全体開発では、2010年代末に向けて日量150万バレルを予定

注: \*20年間の延長オプション有り

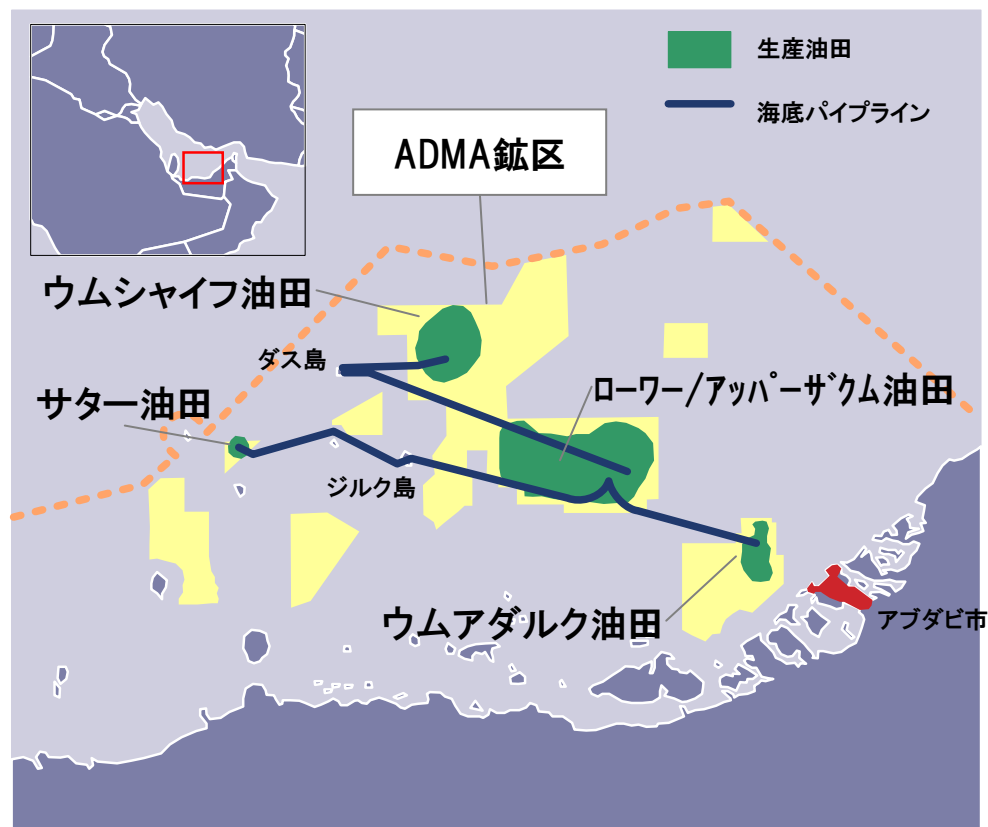
**INPEX**

## BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.



- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月に操業会社BTC Co.の発行済み株式をINPEX BTC Pipeline, Ltd.が取得
- 2004年2月、パイプライン建設の資金調達を目的とするプロジェクトファイナンス契約調印
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2007年第2四半期、輸送能力日量100万バレルの設備のコミッショニングを完了
- 2008年9月末、累計4.7億バレル出荷
- 輸送能力120万バレルまでの拡張工事を実施中(2008年末もしくは2009年初、完了予定)

# ADMA鉦区 ジャパン石油開発



- ウムシャイフ/ローワーザクム  
— 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO\*)
  - アッパーザクム/ウムアダルク/サター  
— 当社権益比率:  
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%  
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO\*)
- \*アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(ただしアッパーザクム油田の権益期限は2026年)
  - 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中  
— 全油田で水圧入を実施  
— ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入を実施

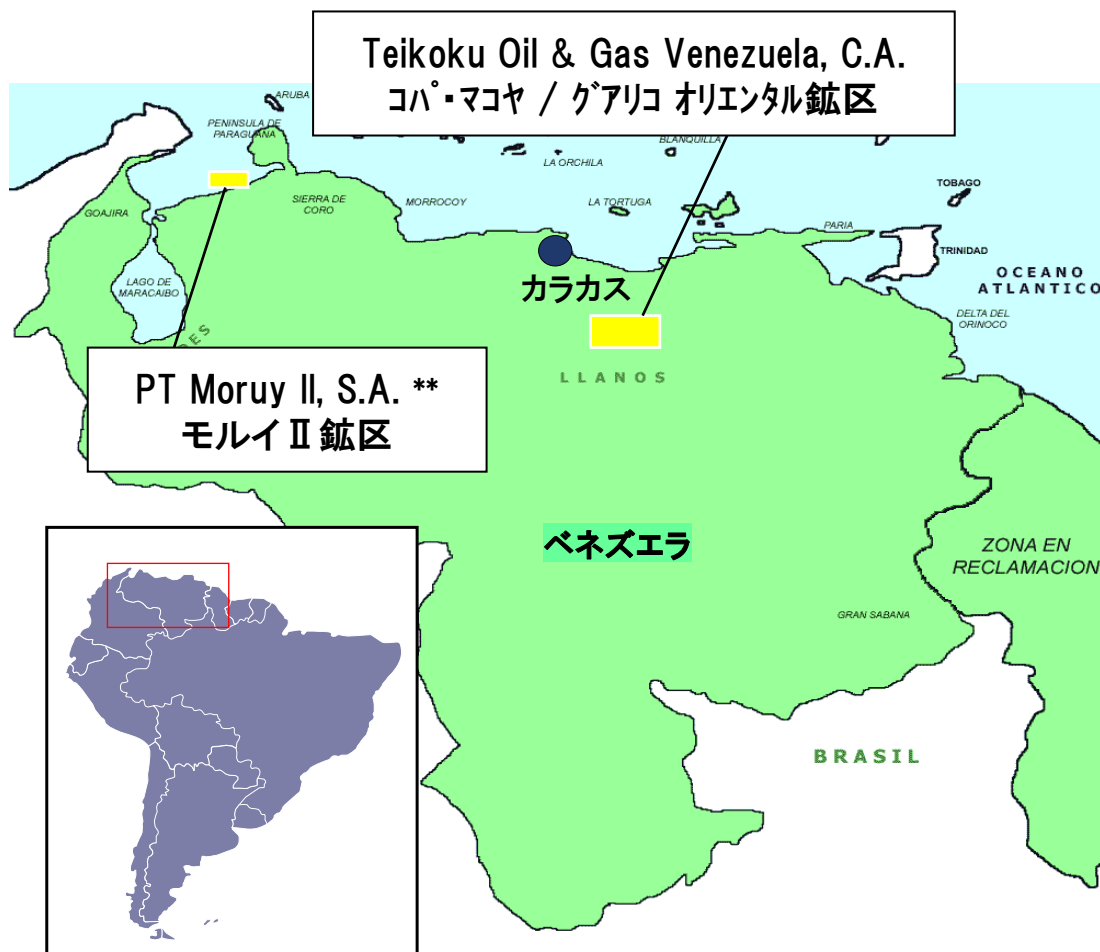
# アザデガン油田 アザデガン石油開発



- 当社権益比率:10%  
(イラン側と協議を継続中)
- サービス契約(バイバック契約)
- 油田開発プロジェクトは2段階\*
  - 開発第1段階として2012年に日量15万バレルに達する計画
  - 開発第2段階へ移行した場合、2016年以降に日量26万バレルの生産に達する見込み

注:\*全鉱区ベース、生産量達成時期は2009年後半に開発工事が開始されるとの前提。

# ベネズエラ プロジェクト Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか



## コパ・マコヤ (ガス事業)/

### グアリコ オリエンタル 鉱区(原油事業)

- ガス・原油探鉱・開発・生産事業
- ジョイントベンチャー契約
  - 2006-2026年
- ジョイントベンチャー出資比率
  - ガス事業:70%、原油事業:30%
- 生産量\*
  - ガス:日量約71百万立方フィート(政府側要請により一部生産制限有り)
  - 原油:日量約2千バレル

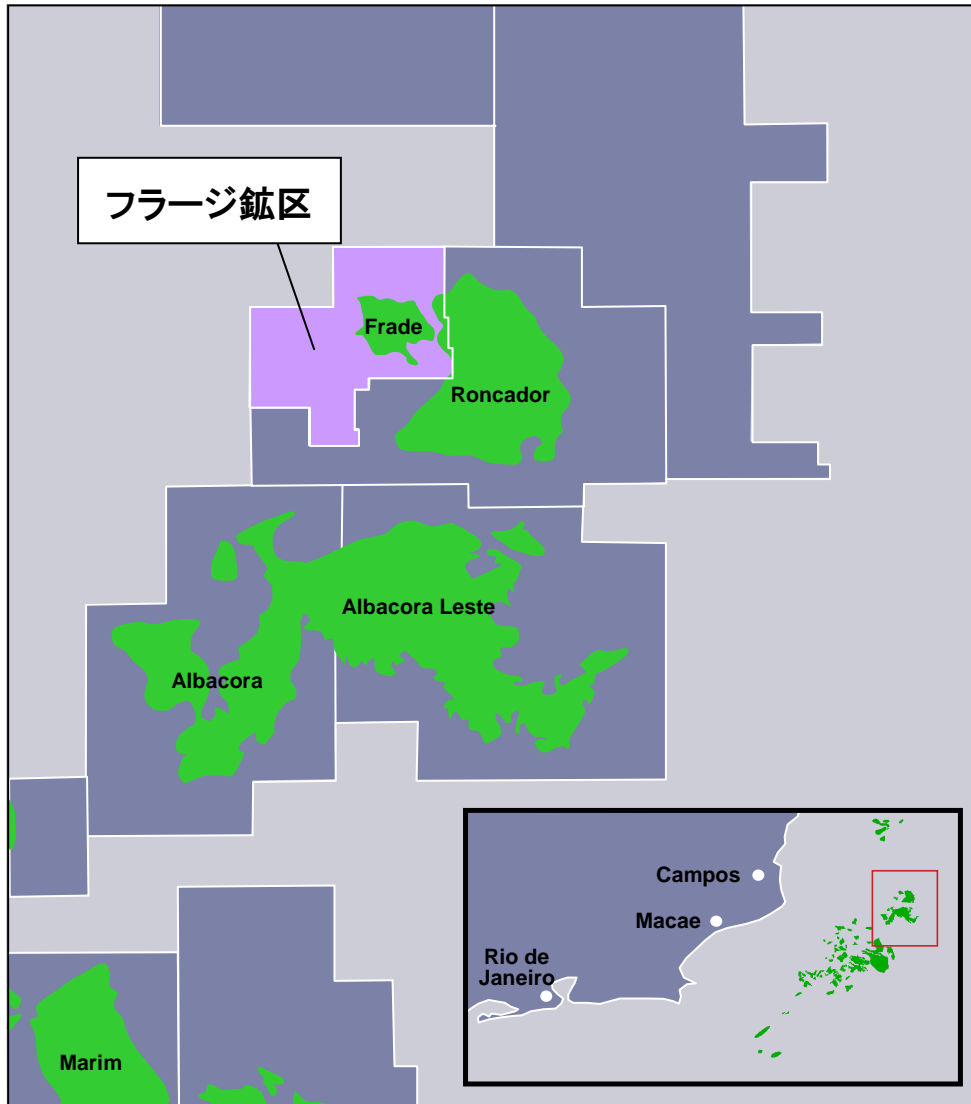
### モルイⅡ 鉱区

- ガス探鉱事業
- 当社権益比率:50%
- 試掘1号井掘削準備中

\* 全鉱区ベース2008年9月平均日産量

\*\* ペトロプラスと当社50:50の共同出資によるJV

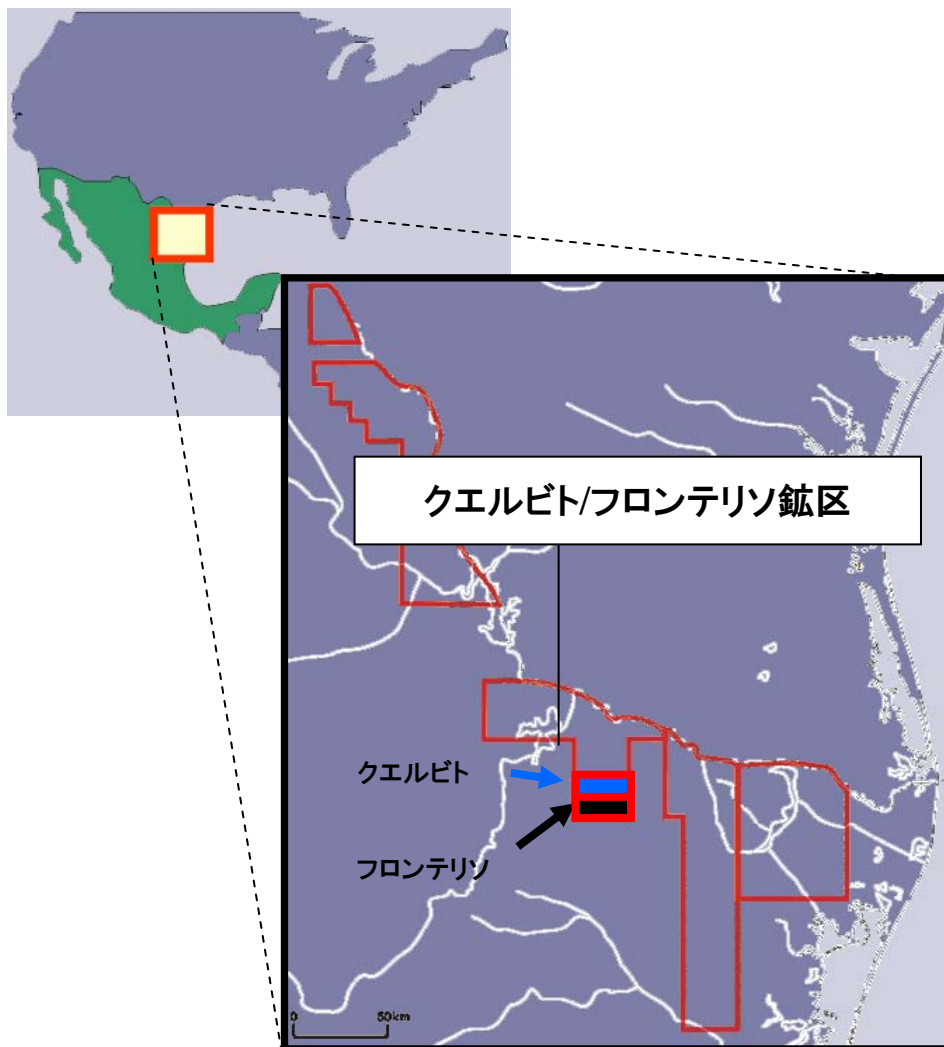
# フラージ鉱区 Frade Japão Petróleo Limitada (FJPL)



- 権益比率: FJPL\*18.3%  
(オペレーター: Chevron)  
\*持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
- コンセッション契約: 2025年まで
- 2006年6月、最終投資決定
- 2009年4月、生産開始予定
- ピーク生産量は、日量約10万バレル



# クエルビト / フロンテリソ鉱区 テイコク・オイル・デ・ブルゴス\*



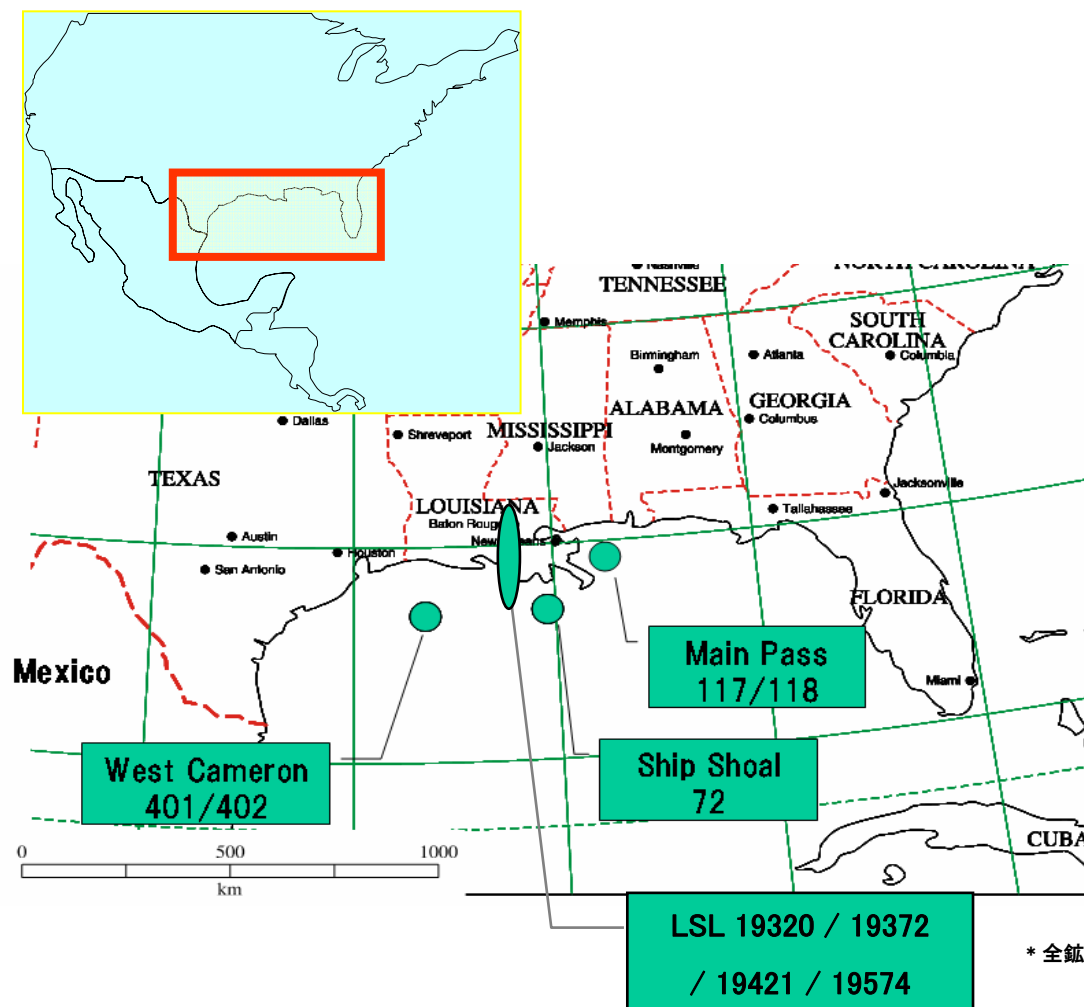
## クエルビト / フロンテリソ鉱区

- ガス開発事業
- サービス契約
- 当社権益比率:40%  
(オペレーター:ペトロブラス)
- 生産量\*\* :
  - ガス:日量約36百万立方フィート
  - 原油:日量約7百バレル

\* 当社株主シェア75%

\*\* 全鉱区ベース2008年9月平均日産量

# 米国メキシコ湾 プロジェクト Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.



- 原油・ガス探鉱・開発事業

- コンセッション契約

- 当社権益比率

- Ship Shoal 72 : 25%

- West Cameron 401/402 : 25%

- Main Pass 117/118 : 10%

- LSL 19320/19372/19421/19574 : 25%

- 生産量\*

- ガス: 日量約21百万立方フィート

- 原油: 日量約1千2百バレル

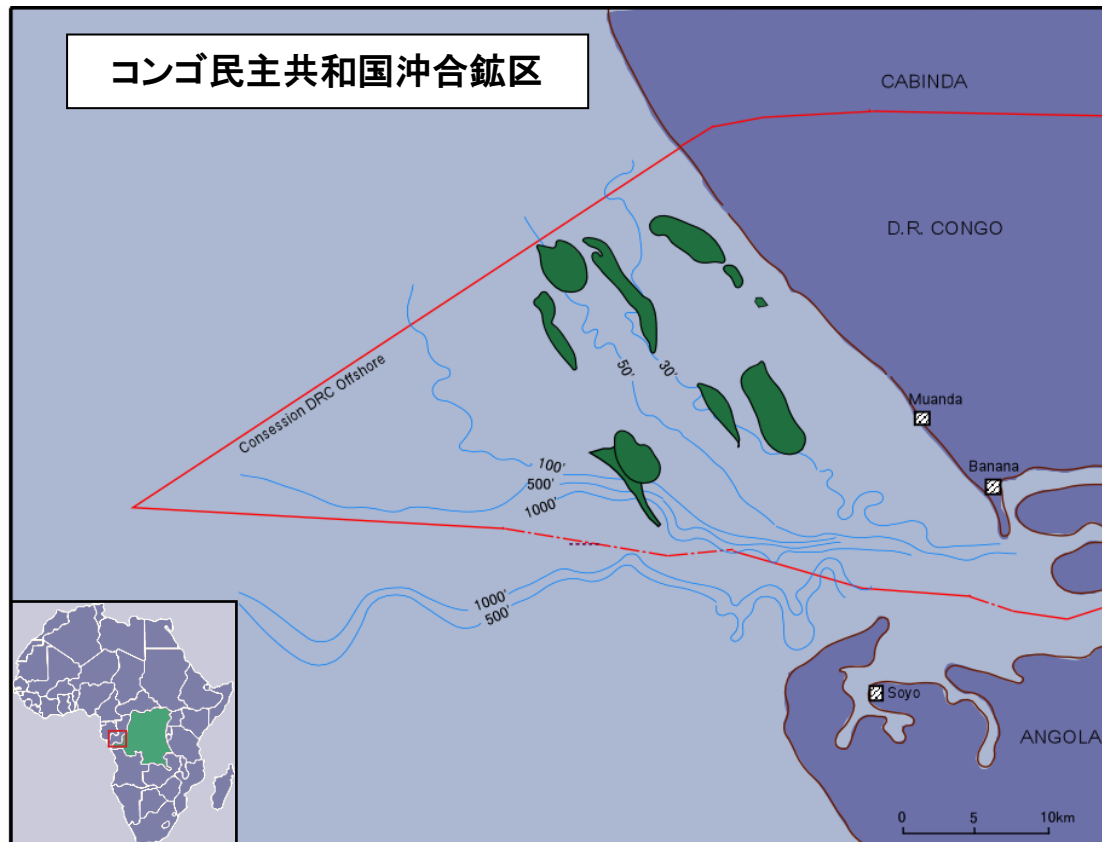
\* 全鉱区ベース2008年8月平均日産量(9月はハリケーンの影響で生産停止につき、8月平均を記載)

# コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

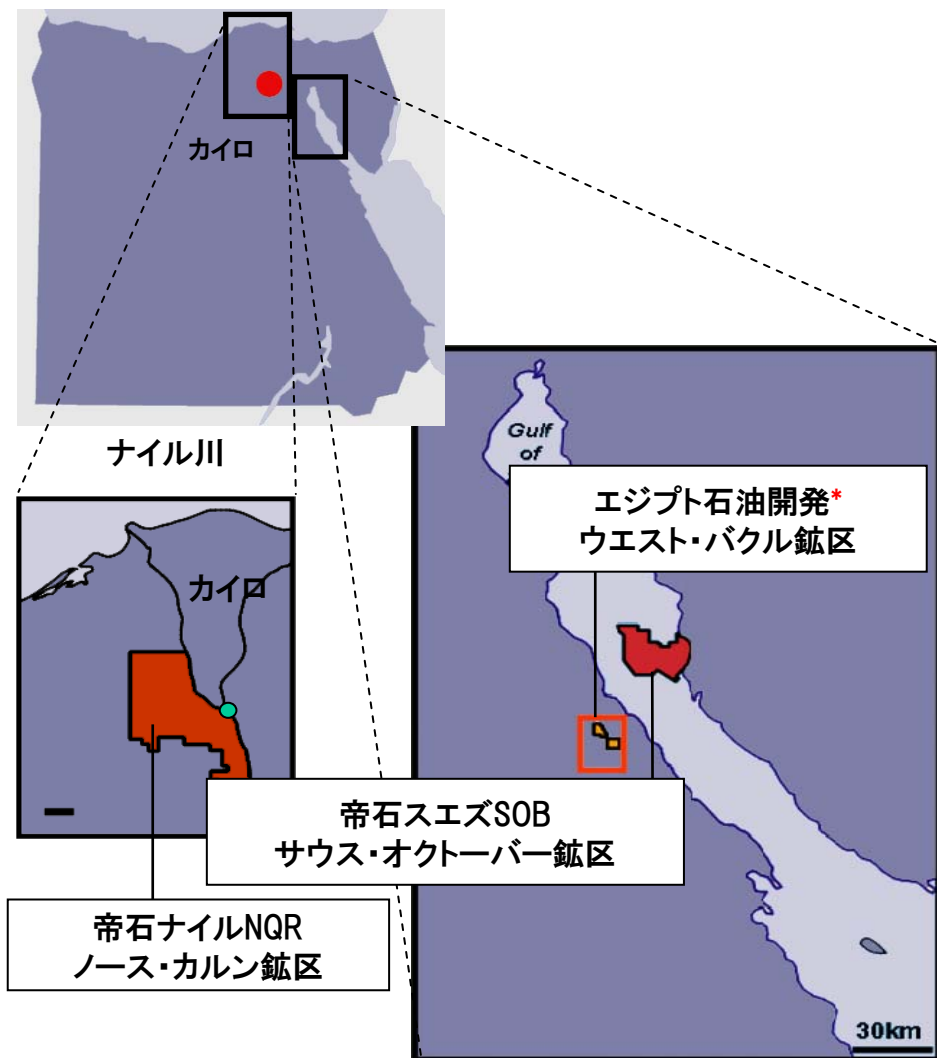
## コンゴ民主共和国沖合鉱区

- 原油探鉱・開発事業
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 当社権益比率:32.28%  
(オペレーター:ペレンコ)
- 生産開始:1975年
- 生産量\*: 日量約1万2千バレル

\*全鉱区ベース2008年9月平均日産量



# エジプトプロジェクト エジプト石油開発\*ほか



## ウェスト・バクル鉱区

- 原油・ガス探鉱・開発事業
- PS契約(1975-2020年+5年延長オプション)
- 当社権益比率:100%(オペレーター)
- 生産開始:1980年
- 生産量\*\*: 日量約4千バレル

## サウス・オクトーバー鉱区

- 原油・ガス探鉱事業
- PS契約(2005-2009年)
- 当社権益比率:35%(オペレーター:Dana Petroleum)
- 試掘作業中

## ノース・カルン鉱区

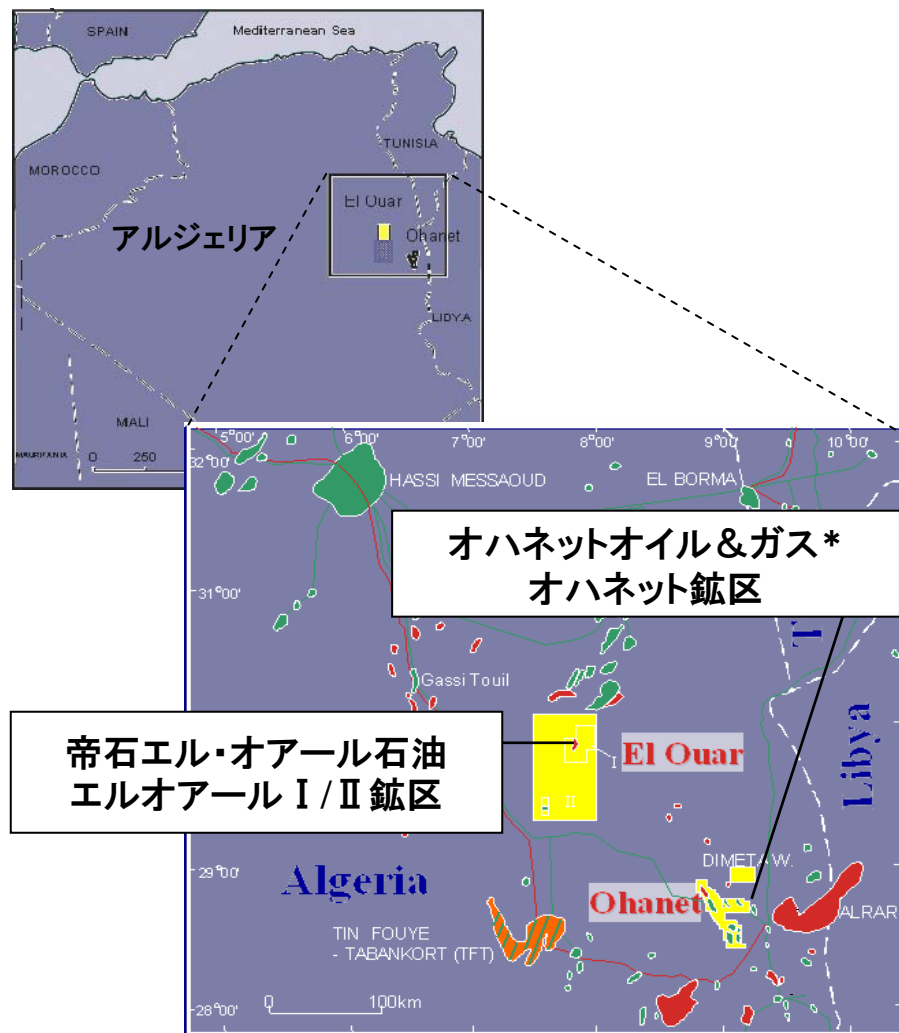
- 原油・ガス探鉱事業
- PS契約(2005-2009年)
- 当社権益比率:25%(オペレーター:Dana Petroleum)
- 地質解釈作業実施中

\* 当社株主シェア52.7%

\*\* 全鉱区ベース2008年9月平均日産量

**INPEX**

# アルジェリア プロジェクト オハネットオイルアンドガス\*/帝石エル・オアール石油



## オハネット鉱区

- ガス開発事業
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量\*\*
  - ドライガス:日量約564百万立方フィート
  - コンデンセート:日量約2万3千バレル
  - LPG:日量約2万2千バレル

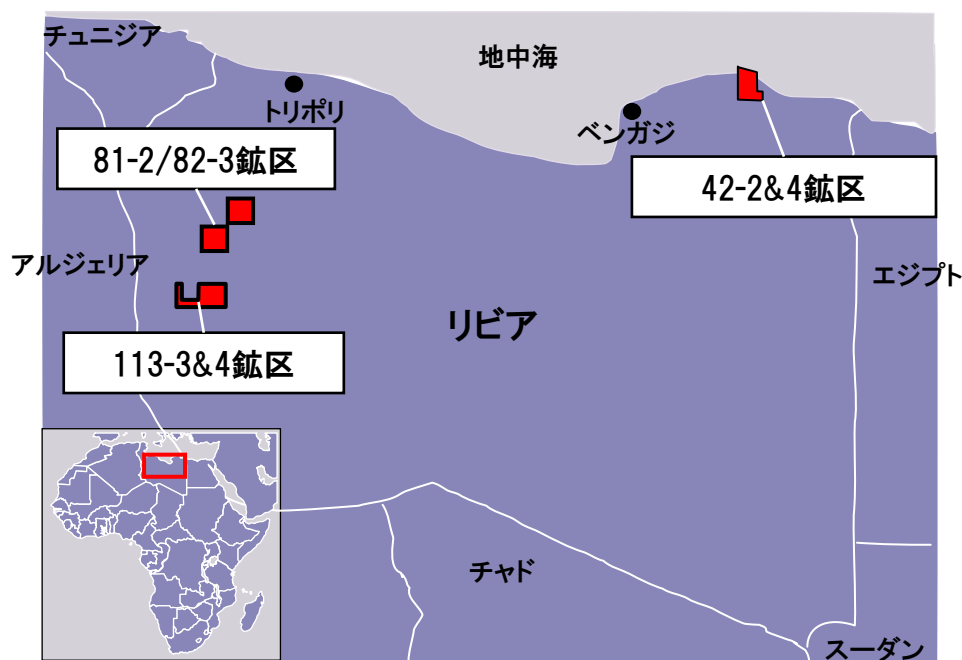
## エル・オアール I / II 鉱区

- 原油・ガス探鉱・開発事業
- コンセッション契約
- 原油およびガス・コンデンセート田の開発準備作業中
- 当社権益比率:10.29%(オペレーター:ENI)

\* 当社株主シェア15%

\*\* 全鉱区ベース2008年9月平均日産量

**INPEX**



■ 原油・ガス探鉱事業

■ PS契約(探鉱契約5年間)

- 81-2/82-3 鉱区/42-2&4 鉱区:2005-2010年
- 113-3&4 鉱区:2007-2012年

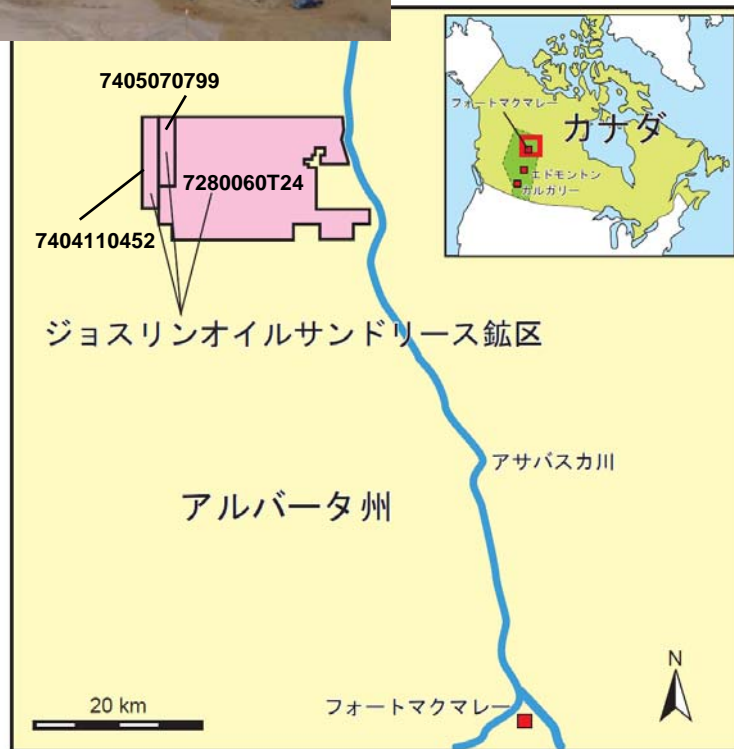
■ 当社権益比率

- 81-2 鉱区、82-3 鉱区:73%(オペレーター)
- 42-2&4 鉱区:40%(オペレーター:TOTAL)
- 113-3&4 鉱区:85%(オペレーター)

■ 作業現況

- 81-2 鉱区、82-3 鉱区:試掘作業中
- 42-2&4 鉱区:新規2D地震探鉱データ解釈作業中
- 113-3&4 鉱区:新規2D地震探鉱データ処理作業中

# ジョスリン オイルサンドプロジェクト      インペックスカナダ石油



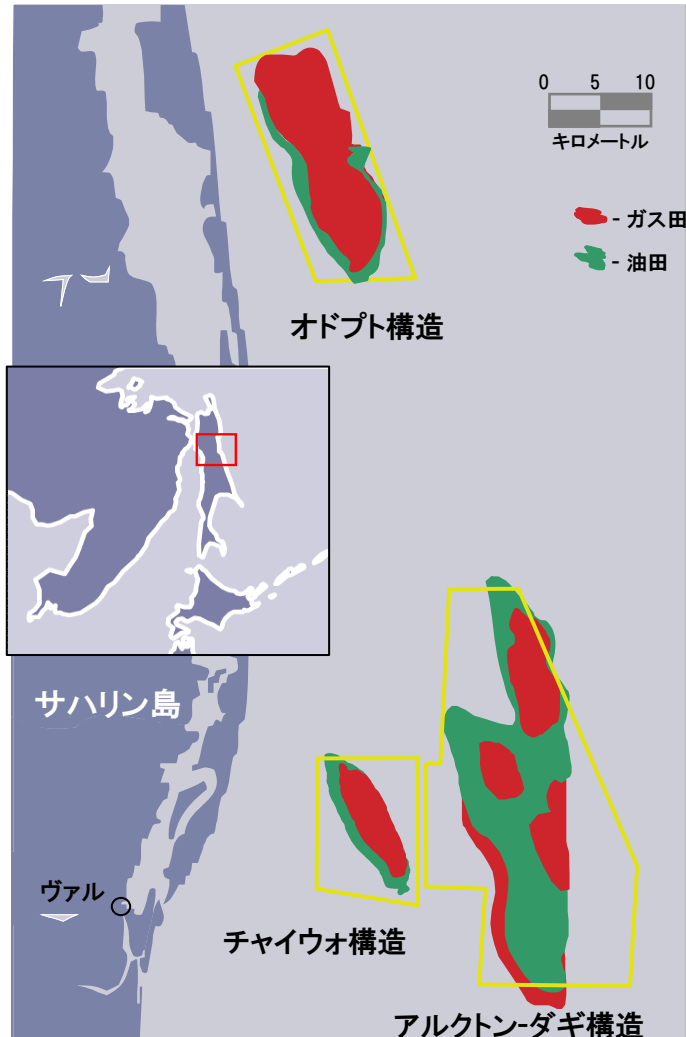
ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率：10%（オペレーター：TOTAL）
  - リース契約（3鉱区の合計約220km<sup>2</sup>）
    - 7280060T24：無期限
    - 7404110452：2004年11月より15年間のprimary lease\*
    - 7405070799：2005年7月より15年間のprimary lease\*
- \*延長可能
- 生産量\*：日量約3千バレル
  - オイルサンド上流開発プロジェクト：
    - 2006年からスチーム圧入（SAGD法）による生産を開始、2009年までに日量1万バレルに達する予定
    - 露天掘りによる大規模開発を通じ、2010年代初頭に日量10万バレルの生産を計画（第一段階）、その後日量20万バレルまで拡大予定（第二段階）
  - オイルサンド改質プロジェクト：
    - アルバータ州エドモントンにオイルサンド改質プラントを建設し、2010年代前半までに第一段階として日量13万バレルの合成原油を製造することを計画

\* 全鉱区ベース2008年9月平均日産量

# サハリン I

# サハリン石油ガス開発



\*2008年9月平均日産量

- サハリン石油ガス開発(SODECO):  
当社が5.75%の株式を保有
- (石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOの権益比率: 30.0%
- 生産量\*
  - 原油・コンデンセート 日量約18万バレル
  - ガス 日量約718百万立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- パートナー: ONGCヴィデッシュ、サハリンモルネフテガス・シェルフ、RNアストラ
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 天然ガスをロシア国内に供給。さらに中国等へ輸出を検討中

**INPEX**



- 1969年：試掘権を出願
- 1981・84年：地震探鉱を実施
- 1992年：中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始
- 1997～1999年：石油公団が地震探鉱を実施
- 2004～2005年：石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月：経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km<sup>2</sup>のうち3エリア(約400km<sup>2</sup>)の試掘権設定の願いを提出
- 2005年7月：同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 今後の作業開始にあたっては、作業の安全確保を最優先に、日中政府間協議の動向を見守ると共に、関係官庁等と協議した上で判断

# 主要会社一覧及び石油契約①

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
<b>日本</b>					
国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか*	日本	コンセッション	-	生産中
<b>アジア/オセアニア</b>					
国際石油開発帝石	マハカム沖鉱区	インドネシア	PS	-	生産中
ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	PS	100%	生産中
MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	開発中
インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アパディ)*	インドネシア	PS	51.63%	開発準備作業中
サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P鉱区(イクシス)*	オーストラリア	コンセッション	100%	開発準備作業中
インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	開発検討中
アルファ石油	ヴァンゴッホ油田/ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
					(グリフィン油田群:生産中)
<b>ユーラシア</b>					
インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	開発中

注: \*オペレータープロジェクト

## 主要会社一覧及び石油契約②

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
<b>中東</b>					
ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
アザデガン石油開発	アザデガン油田	イラン	サービス	100%	開発中
<b>アフリカ</b>					
帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
エジプト石油開発	ウエスト・バクル鉱区*	エジプト	PS	52.7%	生産中
帝石スエズSOB	サウス・オクトーバー鉱区	エジプト	PS	100%	探鉱中
帝石スエズNQR	ノース・カルン鉱区	エジプト	PS	100%	探鉱中
オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	サービス	15%	生産中
帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	コンセッション	100%	開発検討中
Teikoku Oil Libya UK Ltd	81-2/82-3鉱区	リビア	PS	100%	探鉱中
インペックスリビア石油	42-2&4/113-3&4鉱区	リビア	PS	100%	探鉱中
<b>米州</b>					
インペックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	生産中
(露天掘り:開発準備作業中)					
テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパマコヤ*/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
テイコク・オイル・デ・ブルゴス	クエルビト/フロンテリソ鉱区	メキシコ	サービス	75%	生産中
テイコク・オイル(ノース・アメリカ)	Ship Shoal 72, West Cameron 401/402, Main Pass 117/118	米国	コンセッション	100%	生産中
Frade Japão Petróleo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%**	開発中

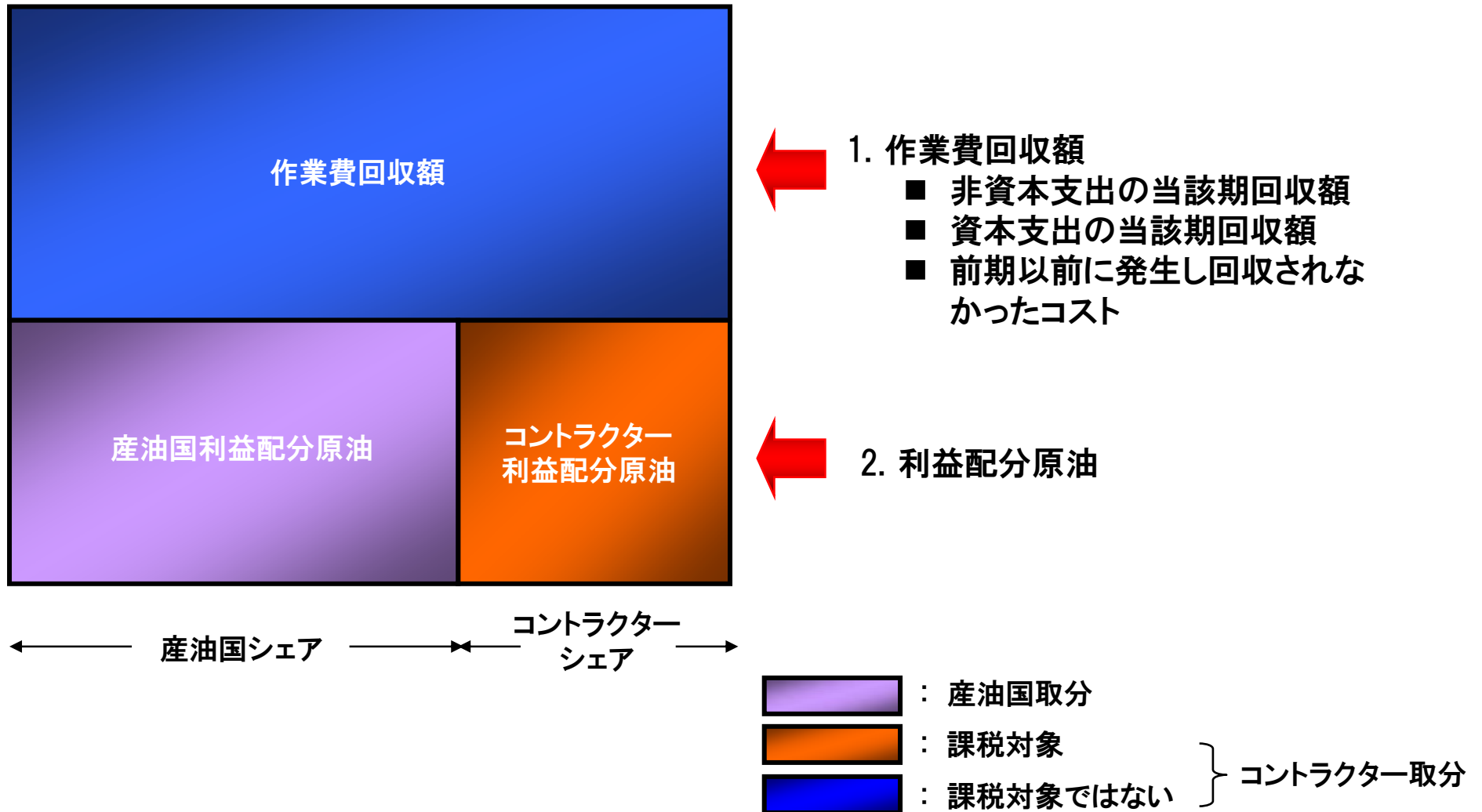
注: \*オペレータープロジェクト

\*\*インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率は同社を通じての当社の実質的な比率。

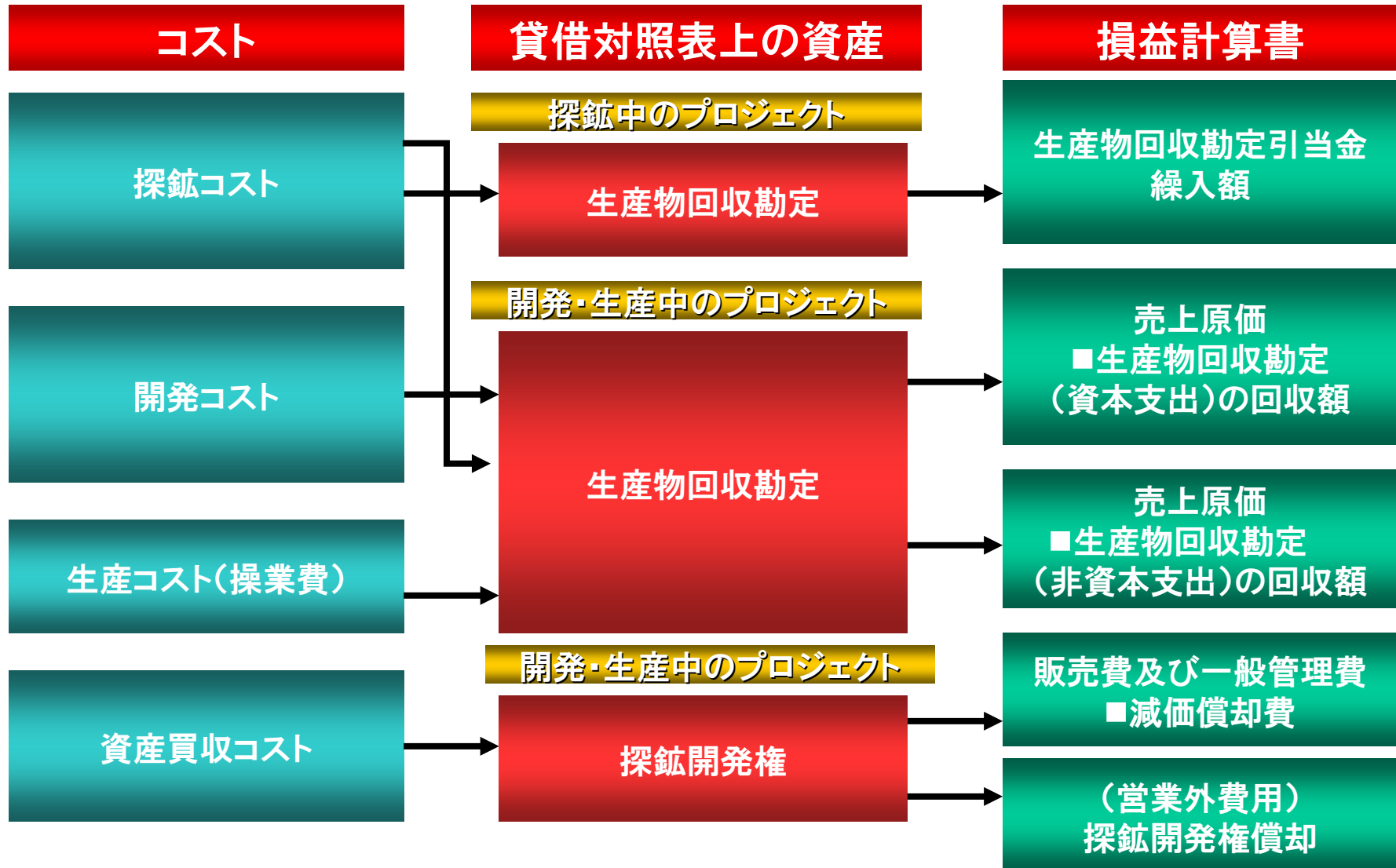
その他

---

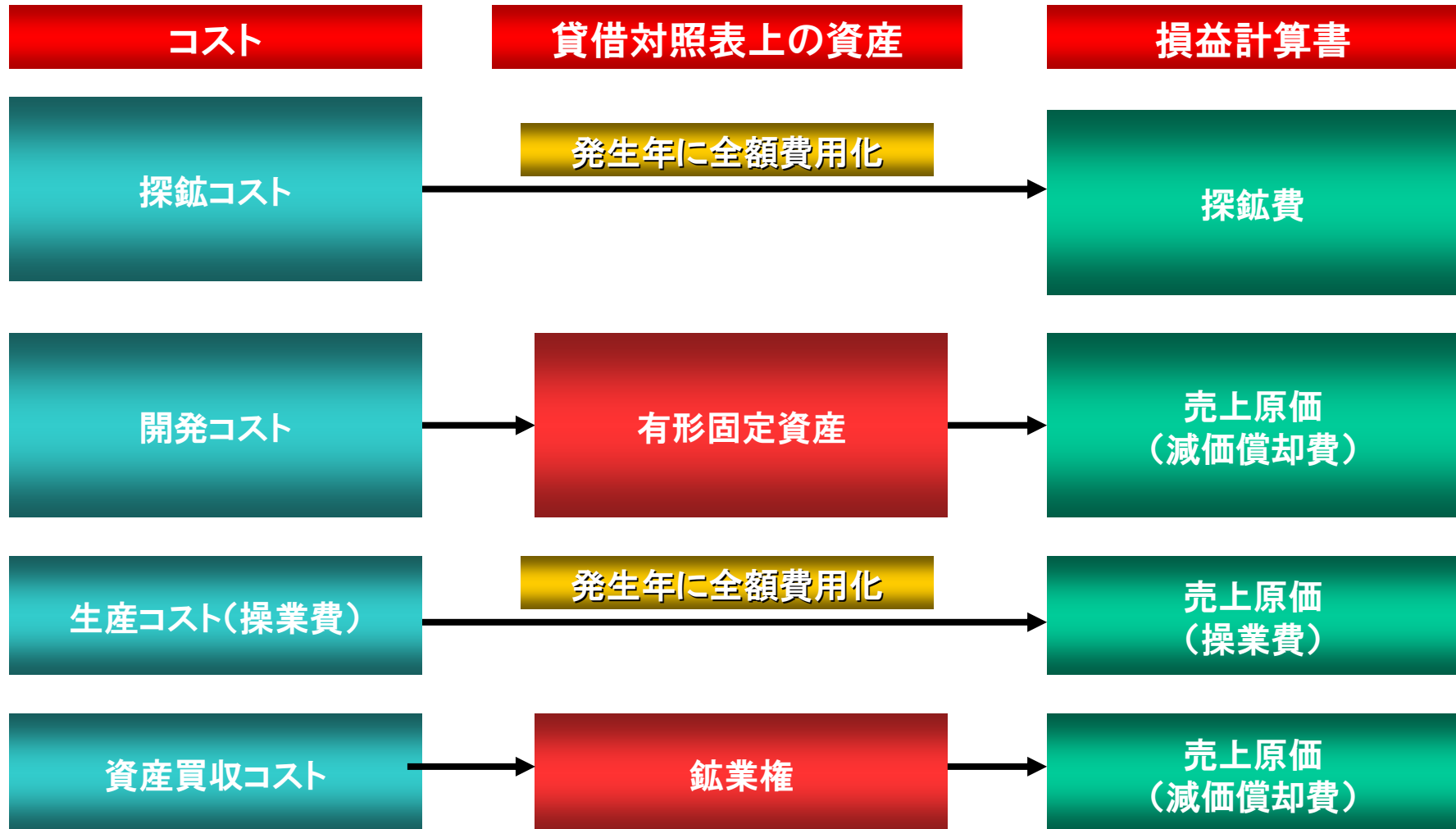
# 生産分与契約



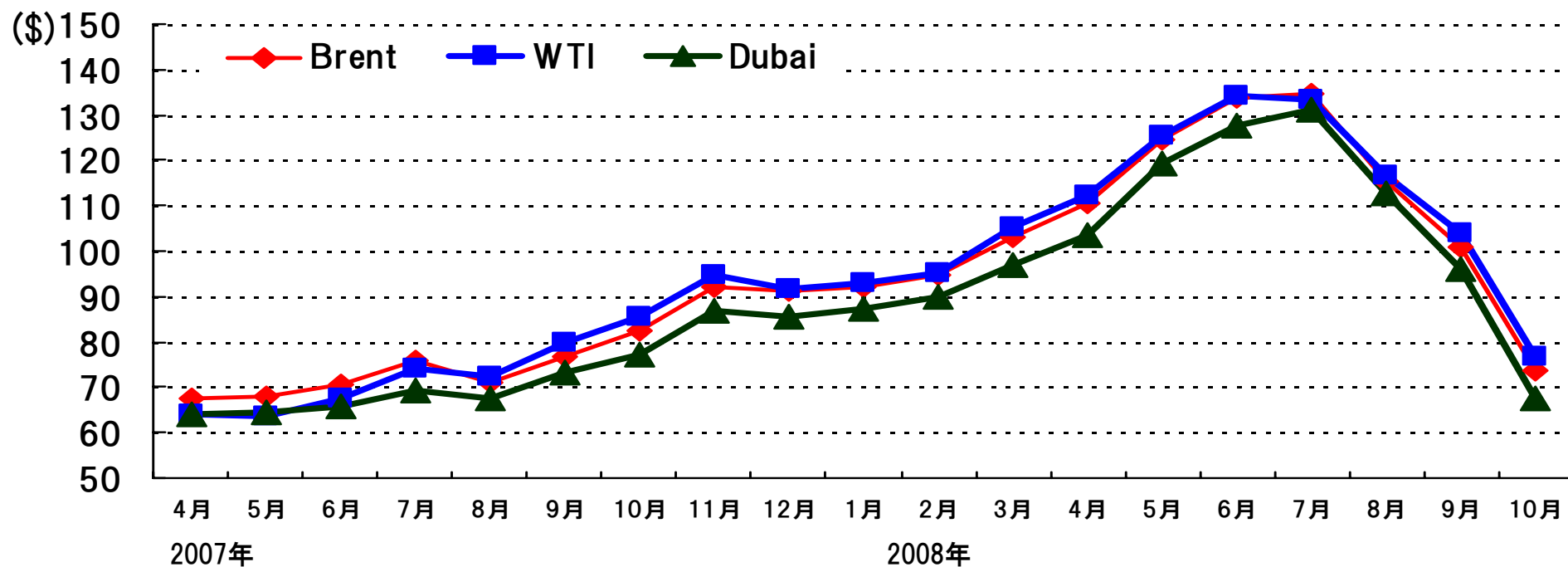
# 生産分与契約に係る会計処理



# コンセッション契約に係る会計処理



# 油価の推移



	2008年3月期 上半期	2008年3月期 通期	2008年						2009年3月期 上半期
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	71.67	82.14	110.48	124.69	133.73	134.56	115.24	100.79	119.91
WTI	70.21	82.25	112.46	125.46	134.02	133.48	116.69	103.76	120.98
Dubai	67.43	77.36	103.41	119.50	127.82	131.27	112.86	95.90	115.13